

ISSN2433-2623

日本語文化の研究

VOLUME 3

May 2020

人形淨瑠璃八王子車人形特集号

研究論文

文楽人形と魂に関する社会心理学的研究

— 他者理解と擬人化 — 早野慎吾 1

八王子車人形の動きを取り入れたロボットモーションデザイン

— 序破急を中心に — 董然・早野慎吾・何昱穎・蔡東生 13

(研究報告)

プレス発表「人形淨瑠璃と先端技術の融合を目指した、伝統芸能の新たな取り組み

— 人と人形のインターラクション —」の報告 蔡東生 22

外国人児童生徒支援のための「学校通知文作成ソフトウェア(フランス語版)」

..... 早野慎吾・宮田好恵・松井洋子・島岡学・島岡ブリシラ 26

立川日本語・日本語教育研究所

文楽人形と魂に関する社会心理学的研究

— 他者理解と擬人化 —

早野慎吾(都留文科大学)

A Psychosociological Study on the Soul that Humans Feel in Bunraku Puppet

— “Understand Others” and “Personification” —

Shingo HAYANO

キーワード：人形浄瑠璃 感情表現 不気味の谷 他者理解 擬人化

1. はじめに

人形は、中世以降に觀賞用・愛玩用として発達するが、古くは信仰の対象として作られた。たとえば、縄文時代の人形である土偶は、その多くが精靈(女神)を模して作られたと言われる。女性の乳房、腹部を表現しているものが多く、おそらく生殖、豊穣の呪術目的で使用したとみられる。つまり神靈が宿る「依代」としての存在である。縄文時代、巫女(シャーマン)は土面を被ることがあったが、仮面は「人ならざるもの」の象徴(畠田 2017:pp. 72-73)であり、自らが依代となることを意味する。神楽や能楽でも神や鬼など「人ならざるもの」を演じるときは面を掛けるが^{*1}、それはその役と一体化することを意味する。人形浄瑠璃で人形遣いは「役になりきる」「気をのせる」と言うが、それは「依代」としての性質も持つ。

文楽人形^{*2}は、現代アートのようなりアルさはないが非常に人間的である。2009年9月に人形浄瑠璃文楽がUNESCO無形文化遺産に登録されたが、人形(人形遣い)の舞に観客は魂や心を感じると言われる。それは所作などによる感情表現が大きく関係している(Ran Dong et.al 2019)。本研究では、人形と魂(心)の関係について考察するが、そこには「他者理解」「共感性」「擬人化」などが大きく関与していると考えられる。

2. 不気味の谷現象

ロボット工学や心理学の分野で有名な概念に「不気味の谷(Uncanny Valley)」現象がある。人間は機械の造形(外見)や音(声)が人間に近づいて来ると、その機械に親近感や好感を抱くようになる。しかしある程度人間に近づいた時点で、突然、違和感、嫌悪感、恐怖心、薄気味悪さを強く感じるようになる。この突然現れる嫌悪感などを不気味の谷という。

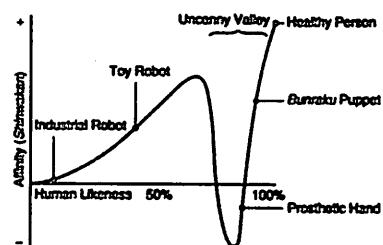


図1 Mori et.al (2012)

図1は Mori et.al(2012)によるものであるが、縦軸は親近感(Affinity)を表しており、横軸はヒトとの類似度(Humana Likeness)を表している。精巧な電動義手(Prosthetic Hand)では、親近感はマイナスに落ち込むが、文楽人形(Bunrku Puppet)は不気味の谷を乗り越えて健康人(Healthy Person)に近づいている。日本芸術文化振興会の文化デジタルライブラリー「文楽への誘い」^{*3}では、文楽人形の所作を「まるで命があるように、人形を生きいきと動かす」と表現しているが、この観客が感じる命や魂が不気味の谷をと大きく関係していると考えられる。

3. 込める魂

「魂」とは「人間、さらにはひろく動物・植物に宿り、心のはたらきをつかさどり、生命を与える原理そのものと考えられているもの」(『日本国語大辞典』精選版)である。この魂は、心、命と三位一体の関係であり、それらは「生物(イキモノ)」と「物(モノ)」とを区別する大きな要素といえる。「魂」という概念を扱うとアニミズム(タイラー1962)との関係も問題になるが、文楽人形は、魂を込める「依代」としての性質を持っている。元文楽協会技芸員の勘六氏は、人形遣いは人形を使って神を体現していると語っている^{*4}。

筆者ら研究チームは、2019年8月～12月にかけて八王子車人形西川古柳座^{*5}の家元である五代目西川古柳氏(以後：家元)に対して人形浄瑠璃の概念や人形遣いの所作についての調査を行った。車人形は、三人遣いの操作をろくろ車という箱車を使用することにより一人で操作することを可能にした人形浄瑠璃である。主遣い、左遣い、足遣いの三人で行う三人遣い(文楽)に比べて、統制のとれた動きになる(早野 2019; p. 2)。西川古柳座家元は人形遣いであるが、役を演じることで大切なことは、「演じる人物になり切ること。それは役の人格を宿すことである」と論じた。これは依代としての性格を説明している。2020年3月に太夫の竹本乾太夫氏に行った調査では「気をのせる」という表現で次のように説明された(『日高川入相花王』主人公清姫について話した内容)。

私たちも人形遣いと同じく、「気」をのせて演奏します。そして登場人物、この場合清姫に心はなりきります。もちろん私は清姫には会った事がありませんから、本当はどのような人物なののかはわかりません。だから、自分で考えた清姫象に素直に従います。どのような芝居でも、そこ出てくる人物を自分の中で固めた上で、私は語ります。

民俗学で扱われるシャーマニズムでは、シャーマン(巫女)が行う「憑依」という行為がある。これは精霊や故人の魂などが、ある人物の身体に憑くことで、憑依された人物は憑依された間の記憶がない場合もあるという(佐々木 1984; p. 60)。人形浄瑠璃の場合、演じるのは作品上の人形であるが、その人物の人格を演者がシミュレーションすることで、その人物になりきろうとする。シャーマニズムの憑依では、どの程度の自我を保っているかはわからないが、人形遣いにおいては、あくまでも役を演じるのであり、自我を失うことはない。冷静な部分がないと、太夫の声に動きを合わせることはできず、他の人形遣いの動きを観察することもできないからである。シャーマンと人形遣いは、他者の魂を受け入れる依代としての性質において大きな違いがある。

人形遣いは演者としての自分と他者(役)の狭間に位置しながら、自分と他者(役)を調整する。太夫は複数の役に声をあてるので、人形遣いよりも一人の役に入り込むことはない。

シャーマンは一時的でも自我意識の喪失まで目指すとしても、人形遣いや太夫が行っているのは、意識のコードスイッチングである。これは、言語の使い分けに似ており、英語と日本語、共通語と方言を使い分ける行為と似ている。



図2 記者会見時の舞(2020/03/08)

4. 感じる魂

人形遣いが人形に込める魂と、観客が感じる魂は違う。演じ手は、シミュレーションを繰り返すことで役になりきるが、観客は、初めて見た人形にも「魂」を感じる。

観客が魂を感じるのは「他者理解(Understand Others)」によると考えられる。他者理解とは「他者の心理状態(特に感情)を認識し、推測し、理解する能力」(溝側・子安 2015;p. 360)である。そして、他者理解により「共感性(empathy)」が生じる。長谷川(2015)では、「ヒトが有する心的特徴は「血縁者のみならず非血縁者と共に、極めて高度で複雑で大規模な協力的社会を構築し、見知らぬ他者に対してさえ向社会的に振舞う点にある」(p. 411)として、そのメカニズムに共感性があるとする。筆者は、この他者理解と共感性が不気味の谷を生じさせる要因であり、ヒトが人形に魂や命を感じるメカニズムであると考える。

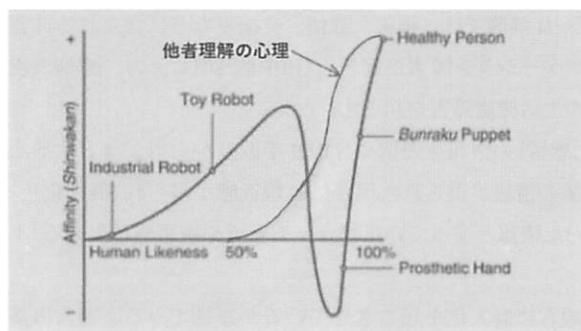


図3 他者理解曲線

心的距離が計れない。図1での不気味の谷現象は、他者理解の心理が働いているにも関わらず、相手の心理状態が認識できることで生じる不安や恐怖などの感情、もしくは相手から得ようとし

ヒトは、他者との関係を構築するために、表情(特に目)や身振りから、相手がどのような心理状態であるかを探ろうとする心理(他者理解)が働く。従って、人形やロボットの造形がヒトに近づけば近づくほど、それに対して他者理解の心理が働き出すと考えられる。しかし、相手(人間)の心理状態(特に感情)の認識が得られなければ、相手との

— 3 —

た心理状態の情報と、得られる情報のギャップによる違和感などが原因で生じるものと考えられる。

この仮説が正しいとすると図1の親近感と類似度の曲線から、他者理解の状況を推測すると図3のような「他者理解の心理曲線」になる。ヒトとかけ離れたロボットでは発生しなかった他者理解の心理がある時点で働きだして、相手の心理状態を探り出すが、その情報が得られないために違和感や不安感が生じてくるのである。

ヒトでない存在をヒトに近い存在と認知して、その認知に見合う他者情報(相手の心的情報)が得られれば、相手を許容して親近感を得ることになる。筆者はこの現象を「擬人化(Personification)」と表現することにする。人形浄瑠璃においては、人形遣いの巧みな感情表現と太夫の声により観客に擬人化現象を生起させる。それが人形に「命」「魂」を感じるのであると考えられる。観客の中には、感動して涙を流す人もいるが、巧みな感情表現に強く共感が働いているものと推測する。観客が、人形浄瑠璃に感じる「命」や「魂」は、他者理解の心理が求める相手(人形)の心的状態が認識できたことで得られる擬人化で根柢にあると考える。

5. 感情表現

感情の定義については、研究者間で意見が一致しないが(今田 1999;p. 141)、本研究では単純に「怒り、悲しみ、嫌悪、喜びなどの心理状態」と定義する。感情は「個々の感情に特有の反応を示す。顔面表情がその最も代表的なものであり、他に声、姿勢、動作などがある」(今田 1999;p. 141)。その特有の反応から、相手の心理状態を認識する。

相手の感情がわからないことで起きる不安や拒絶反応は人形に限ったことではない。「あの人は感情がわかりにくいので不気味」「○○さんは、無表情で話しかけにくい」という発言を聞くことがあるが、これは相手の心理状態が認識しづらいために、自己と他者との心的距離が計れないために起きる現象である。

統合失調症の代表的な症状に「感情鈍麻」があり、生活機能上に障害が生じさせる。本来ならば、ある環境刺激に対して感動したり、興味を持ったり、感情表現が生ずるものだが、それらの感情表現が生起しない(山口;p. 14)。アスペルガー症候群では、視線、表情、身振りなどに含まれる非言語的な意味を読み取れないのでコミュニケーション障害が起きる(田中他 2011;p. 3)。感情表現の喪失は、コミュニケーション障害などの生活機能障害を起こす。

ヒトは、無意識に相手の心的状態(特に感情)の情報を表情や身振り手振りから得ようとする心理(他者理解)が働くが、相手の心理的状態の情報が得られた場合には親近感が得られ(擬人化)、情報が得られなかつたり、また期待していた情報と違っていた場合、不安感や嫌悪感が生じる(不気味の谷現象)。

それでは、人形遣いはどのようにして観客に擬人化を起こさせているかを見てみる。通常は演目の台詞に合わせてどのような所作を取るかが決まるが、筆者らはストーリーとは関係なく、単純な場面設定での感情表現を西川古柳座家元に実践してもらい、それを記録した。ここでは「悲しみ表現」の一例を紹介する^{**6}。



図4 親しい友人の訃報を聞いたときの悲しみ(女形)

(a) 状況：親しい友人の訃報を聞く

動作：中腰で話し手の方(左)を向く。膝は少し曲げた状態で身体は正面。

(b) 状況：悲しみに動搖し、一瞬、力が抜ける。

動作：顔は正面を向き、膝が折れ一步だけ(右足)後ずさりする。

(c) 状況：悲しい気持ちが高ぶっていく。

所作：身体を左右に震わせながら、上体を持ち上げる。

(d) 状況：思いが込み上げて涙が溢れてくる

所作：上体を最大限持ち上げ、袖で顔を押さえる。

(e) 状況：悲しみに耐えられなくなってくる。

所作：身体を震わせながら上半身を下げていく。

(f) 状況：悲しみで涙が止まらない。

所作：両手で顔を押さえたまま、少し胸を突き出しして少し後ろに引いてから円の動きを入れて前屈姿を取る。

家元は、振り(日常的な所作)に型(美的所作)を混ぜながら大人の女性の悲しみを巧みに表現している。これは悲しみ表現の一例に過ぎず、性別や年齢、場面の違いによってその動きは様々

に変化する。「女形」は年齢によって「娘」と「老女形(ふけおやま)」に区別するが、その境目は18歳くらいであり、14・15歳で嫁いだ江戸期の状況を表している。年齢の幅が広いので、年齢表現は人形遣いの力量が試される。家元の舞を見ていると、明確に人形の感情が伝わってくる。

6. 「円の動き」

(a)から(f)までの動作は、「円の動き」と「対局の動き」を基本としている。能楽や人形浄瑠璃に共通する基礎的な動きに「円の動き」とよばれる所作がある。実際は八の字であったり楕円であったりするのであるが、角(かど)を作らずに弧を描く動作を総じて「円の動き」と表現する。

図5は『日高川入相花王』渡し場の段で、恋しい安珍を思い葛藤する場面で、床本の下線部の箇所の動きである。各関節で同時に円の動きをしている。

エヽ聞こえませぬ聞こえませぬ 安珍さま 恨
みはこつちにあるものを かへつてこの身に恥
かゝされ 何と永らへみられうぞいなう

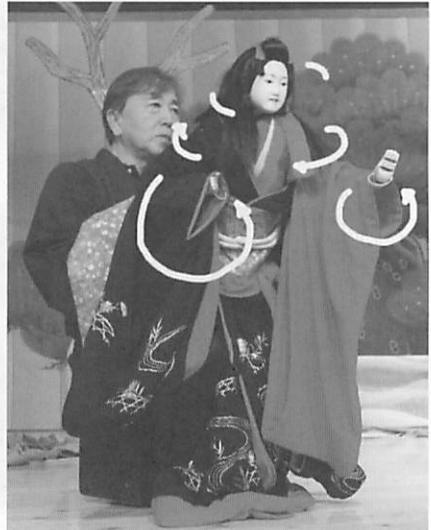


図5 円の動き

人形の動作は「対局の動き」で強調される。たとえば右手で右方向を指すときは、右腕を左側に向けてから弧を描くように右方向に移動させる。首をうなだれるときは、先に胸を突き出して首を少し後ろに反らしてから弧を描くように首を垂れる。図4の(e)(f)の動きがそれにあたる。首(かしら)、肩、胸、両腕を使い、円の動きで見事に清姫の心の内を表現している。観客には、清姫の恋心、苦しみ、怒り、葛藤などが伝わってくる。

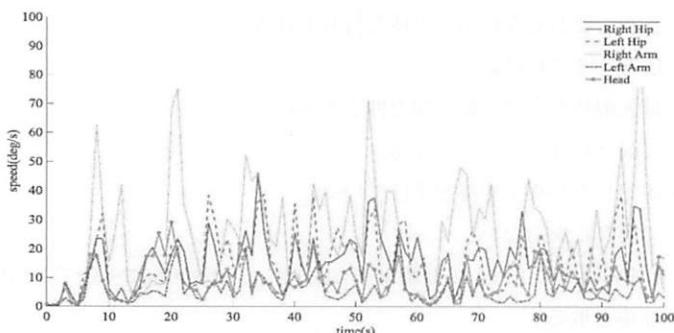


図6 家元モーションの主要関節の角速度(董、早野、何、蔡 2020)

この円の動きを、「序破急(じょはきゅう)」の動きで実践する。初部の序は無拍子で低速、中間部の破は拍子に合い、終部の急は急速となる。この序破急との概念は、能楽や歌舞伎では脚本構成上の概念として使われるが、本稿では動作や音の「緩急変化」の意味で用いる。能楽においてもこの意味での序破急が演目のリズムに現れている。

図6は、家元の『日高川入相花王』渡し場の段の動きをモーションキャプチャで採取した結果である。右腰(Right Hip)、左腰(Left Hip)、右腕(Right Arm)、左腕(Left Arm)、首(Head)の速度を示しているが、一定の速度で動くことなく、緩急に富んだ動きをしている。この緩急の変化が序破急である(董・早野・何・蔡 2020)。機械では、角速度がほぼ一定になる。

円の動きと序破急のリズムは、命あるヒトの動きを表現している。人形浄瑠璃と対照的な動きをするのがロボットパントマイムである。パントマイムでロボットを演じる場合、角(かど)と直線の動きを組み合わせてカクカクとした動きを一定の速度で動かすと機械の動きになる。図7は島留美氏がロボットパントマイムの動作を解説している画像である^{※7}。

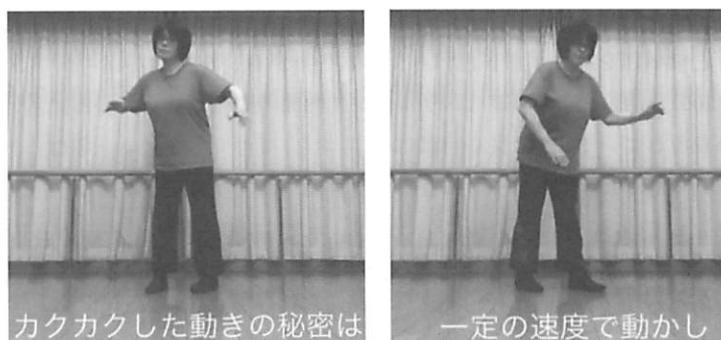


図7 ロボットパントマイム

文化人類学者E・T・ホールが提唱した概念にボディランゲージがある。パントマイムなどは、ボディランゲージを発達させた芸能である。機械を感じさせるには、一定のリズムで直線的な動きをする。逆にヒトを感じさせるには、円の動きと序破急のリズムが必要である。円の動きと序破急のリズムで図4のような感情表現を行うことによって擬人化を起こさせている。人形遣いの所作は、パントマイムのように個々の具体的な事象を表現するものではなく、太夫の語る発話の核となる感情(悲しみや愛情など)を美のレベルまで高めた形で表現するボディランゲージであり、人形浄瑠璃は、ボディランゲージによる感情表現を数百年かけて発達させた芸能といえる。

7. マンガの世界の「人型ロボット(アンドロイド)」と「魂」

平成12年(2000年)、文部科学省『教育白書』にマンガが、雅楽・能楽・人形浄瑠璃・茶道・囲碁将棋などと並んで、日本の誇る文化と記載された。マンガでは機械(人型ロボット)と「命」「魂」の問題をテーマとした作品が多く作られている。

代表的な作品といえば、手塚治虫『鉄腕アトム』(1952)であろう。人間と同じ「心」を持った主人公アトムの活躍を描いた作品である。横山光輝『ジャイアントロボ』(1967)では、電子頭脳を持つジャイアントロボが、最後は命令者(草間大作)の命令を受け入れず、敵の総裁ギロチン帝王と自爆する。読者はジャイアントロボの自己犠牲といえる行動に「心」を感じた。マンガではないが、ジェームス・キャメロン監督『ターミネーター2』(1991)で殺戮機械ターミネーターが自ら溶鉱炉に沈んでマイクロチップを消滅させるが、視聴者はその自己犠牲の行為にやはり「心」を感じた。本稿では感情表現を中心に論じたが、「心」を感じさせる現象は他にも多く存在する。

機械と心をテーマにした作品に石ノ森章太郎『人造人間キカイダー』(1972)がある。主人公ジローは人間態と機械態を持つ。機械態は身体の右半身が青、左半身が赤の衝撃的なデザインで(図8 石ノ森(2001;p. 1))、赤の頭部はスケルトンで内部の機械が見えている。デザイン自体が赤と青の葛藤を表現している。青は良心回路(ジェミニイ)で善でありヒトを象徴している。ジェミニイとは『ピノキオの大冒険』(1883)に登場するコオロギで「良心」の指南役である。赤は悪であり機械を象徴している。作品の最後にジローは、善だけでなく悪の行動も自らの意思でとれるようになり「これで人間と同じになった」(p. 282)というセリフを言い、その後、涙をながす。涙は最たる感情表現で人間らしさを表す。この場面で、自ら善悪を判断する心こそヒトの本性(ほんせい)であると訴えている。作品最終頁で「ピノキオは人間になりました メデタシメデタシ」とピノキオの話が引用され、次のコマで「だが、ピノキオは 人間になってほんとうに幸せになれたのだろうか……?」(p. 285)と問いかけて作品が終了する。

士郎正宗原作のコミックに『攻殻機動隊』(1991)がある。これも機械と魂(作品ではゴーストと表現)をテーマに物語が進行する。この英語タイトルの「THE GHOST IN THE SHELL」は「殻の中の魂」という意味である。作品内でのほとんどの人が擬体化(サイボーグ化)しているという設定で、サイボーグとロボットの違いがゴースト、つまり魂(心)であるとする。姿が人に近ければ近いほど、「魂」の存在が強調される。そのゴーストをハッキングして操る存在を「人形使い」と表現しており、人形淨瑠璃がモチーフとして使われている。この人形使いは、ヒトではなくAIなのだが、自らを「生命体(ゴースト)」として「私は情報の海で発生した生命体だ」(p. 247)と主張する。

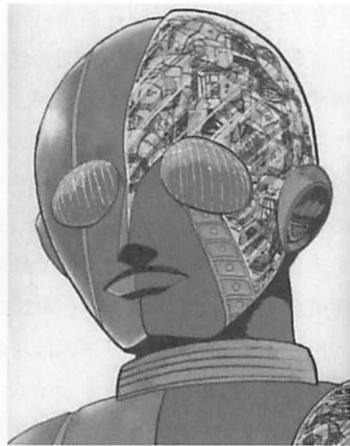


図8 『人造人間キカイダー』



図9 『攻殻機動隊』

『攻殻機動隊』のアニメ作品と西川古柳座は多少の関係がある。1995年に劇場アニメ化された『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』はProduction I.Gという制作会社で作られているが、そこの社長である石井光久氏は、大学時代に西川古柳座の座員であった時期がある。押井守監督・石井光久・鈴木敏夫製作の『イノセンス』(2004: GHOST IN SHELLの続編)には、人形淨瑠璃がモチーフと思われる場面が随所に登場する。オープニングテーマに合わせて、人形(球体関節人形)が人間の姿に変わる映像がながれる。図10の(1)(2)(3)がその画像である(文楽人形そのものは、胴体が無いので、裸体の画像には使えない)。

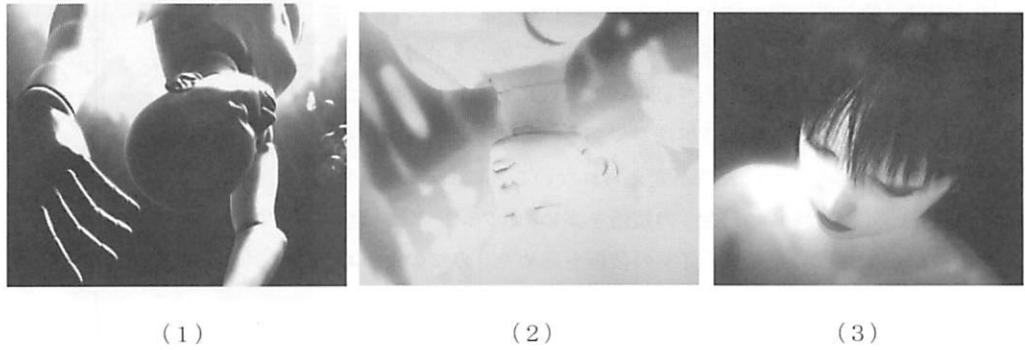


図10 『イノセンス』のオープニングテーマ時の画像

(1)(2)(3)は、文楽人形に近い関節球体人形であるが、目線の動きから意識を持った存在として表現されている。動いている物を目で追うだけで意識の存在を表現できる。「目は口ほどに物を言う」とのことわざがある通り「目」は「心」の動きを表す(エクマン他 1987)。「目が笑っていない」(怒っている)、「目が死んでいる」(うつろな状態)、「目が泳いでいる」(動搖している)などの表現は、「心」の状態を表している。人形淨瑠璃では、首を巧みに操り、目線を対象に向ける(図4の(a))が、これは意識の方向を示している。

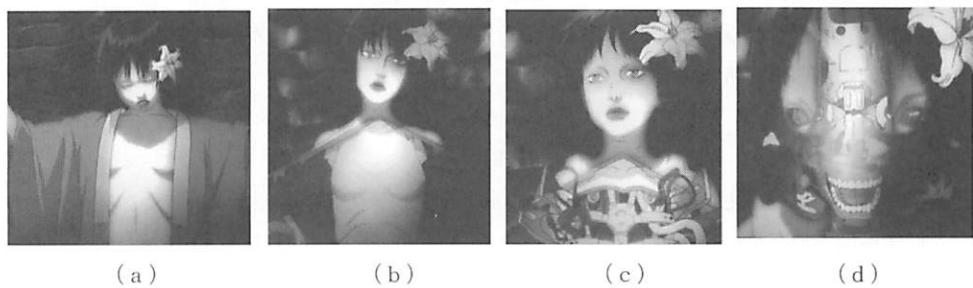


図11 人形の目線と動き

図11の(a)(b)(c)(d)の画像は、少女が自らの皮膚を剥ぎ取り人形(ロボット)と化していく場面であり、オープニングテーマとは逆の展開である。対象(ここではバトー)が目の前にいるにも関わらず、全く別の方向を見ている。その後、対象を襲ってくるので対象を認識しているはずなのに(b)(c)でわかるとおり目線は対象に向いていない。姿形は衣装などからも文楽人形がモチーフになっていると考えられるが、動きは人形遣いの動きではなく、単なる人形(機械)である。

最後の画像(d)は、少女の顔が割れて変化する場面であるが、これなどは人形浄瑠璃のガブ(特殊首)がモチーフと考えられる。

8. おわりに

文楽人形の表情は実によくできている。一見、人形遣いがいないと無表情に見えるが、人形遣いが操ることであらゆる感情が表現できる。これは「無」でなく「ニュートラル」な状態といえる。図4では「悲しみ」の一例を示したが、「好意」「怒り」「苦しみ」など、人形遣いの所作によって表情が変わって感じられる。同じ首(かしら)であるにも関わらず20歳の女性にもなれば30歳の女性にもなる。人形浄瑠璃の奥深さである。人形浄瑠璃が所作を発達させた要因の一つは表情が変えられないことにある。サッカーは「手」が使えないで「足」の技術を高め、ボクシングは「足」での攻撃ができないために「手」の技術を高めた。ガブのような特殊首はあるが、表情の変化で感情を伝えられない人形浄瑠璃は、ニュートラルな首を作成し、所作によって表現する技術を高めたといえる。

現在、伝統芸能を見直す風潮があり喜ばしい状況になっている。しかし、古典的(骨董的)な価値だけが強調される傾向がある。古典芸能が素晴らしいのは古いからだけではない。何世代もかけて、その技術を磨き上げたからこそ価値がある。古典芸能の名人芸には何百年もかけた重み、深み、そして進化がある。

「人形」と「魂」の問題は、「人形」が作られた時から未来永劫に続く問題であろう。「人形」は科学によって「ロボット」「アンドロイド」と進化していくのであろうが、進化するほどに「魂」「命」の問題が大きくなっていくと予想する。そして、ロボットとヒトが共存するためのヒントが人形浄瑠璃にあると筆者は考えている。

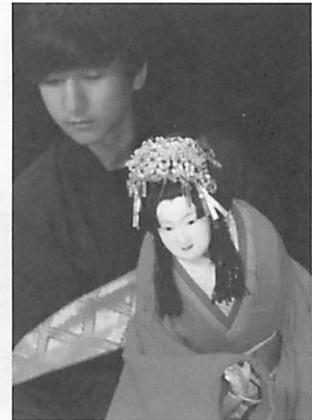


図12 文楽人形の首(かしら)

【注】

1. 能楽では、面は「おもて」と表現し、顔に付けることを「掛ける」と表現する。
2. 人形浄瑠璃といえば文楽と言われている。小学校の国語科教科書教材にも「日本には、古くからは、古くから人々の間で親しまれてきた劇や語りの芸能があります。なかでも、能、狂言、人形浄瑠璃(文楽)、歌舞伎、落語は、日本文化の特色を強く表す伝統芸能です。」(『新編新しい国語六』p.262)のように記述されている。しかし、全国各地には文楽以外の人形浄瑠璃も多く、地域伝統芸能として継承されている。本研究では、人形浄瑠璃八王子車人形を主に扱うが、人形浄瑠璃に使用する人形を総称して「文楽人形」と表現する。
3. <https://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/bunraku/jp/>
4. 勘六氏への調査は、研究メンバーの蔡東生が行った。なお、本研究のメンバーは次の通りで

ある。

研究責任者：蔡東生（筑波大学） 早野慎吾（都留文科大学）

研究代表者：董然（東京工科大学）

研究協力者：劉飛 何昱穎 談子駿 陳暘（以上筑波大学大学院生）

実技協力者：西川古柳（西川古柳座） 竹本乾太夫 野澤仁一郎（以上竹本乾太夫社中）

5. 八王子に160年続く伝統芸能で国・選択無形民俗文化財に指定されている。江戸末期、江戸文楽の西川伊三郎に師事した山岸柳吉（初代西川古柳）が作り出した。

図2は、2020年3月8日に行った研究記者会見（「人形浄瑠璃と先端技術の融合を目指した、伝統芸能の新たな取り組み一人と人形のインタラクション」）の様子である。画像左から竹本乾太夫（太夫）、野澤仁一郎（三味線）、西川古柳（人形遣い）。蔡（2020）を参照されたい。

6. 2019年9月13日、西川古柳座家元に依頼して実践した（人形は女形）。太夫の声はないが、所作だけで感情が表現できている。ただし、設定は付けたが、その設定を詳細に表現することはできない。つまり、人形遣いの所作は、手話のようにことばの意味を伝えるのではなく、その設定の本質といえる感情を洗練された動きで伝えるボディランゲージといえる。演目で言えば、太夫が台詞で詳細を伝え、その台詞の奥にある人形の感情を洗練された所作で表現している。詳しい状況は太夫が伝える必要がある。

7. 図7は、公開されている次の動画による。「プロのパントマイミスト島留美による、ロボットのテクニック解説画像です。」と記述されている。

<https://www.youtube.com/watch?v=iTqgRnTa1Xg>

【参考文献】

石ノ森章太郎（2001）『人造人間キカイダー』2 秋田書店

今田純雄（1999）「感情」『心理学辞典』有斐閣

エドワード・タイラー・比屋根安定訳（1962）『原始文化』誠信書房

蔡東生（2020）「人形浄瑠璃と先端技術の融合を目指した、伝統芸能の新たな取り組み

一人と人形のインタラクション」の報告』『日本語文化の研究』3 pp. 51-54

佐々木宏幹（1984）『シャーマニズムの人類学』弘文堂

士郎正宗（1991）『攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL』1 講談社

田中宏明 立山清美 谷口英次 清水寿代 吉田文（2011）「総説統合失調症と広汎性発達障害」

『Journal of Rehabilitation and Health Science』9 pp. 1-6

董然 早野慎吾 何昱穎 蔡東生（2020）「人形浄瑠璃を用いたロボットモーションデザイナー序破急を中心にして」『日本語文化の研究』3 pp. 13-21

長谷川寿一（2015）「共感性研究の意義と課題」『Japanese psychological Review』58-3 pp. 411-420

早野慎吾（1996）『首都圏の言語生態』おうふう

早野慎吾（2018）「オタク文化の表現論（1）—コミック景観について—」『日本語文化の研究』1

pp. 10-21

- 早野慎吾(2019)『日本語文化の研究別冊3 八王子車人形西川古柳座1』
- ポール・エクマン ワランス・V・フリーセン 工藤力訳(1987)『表情分析入門』誠信書房
- 轟田亜希子 野澤伸平(2015)『土偶のリアル 発見・発掘から蒐集・国宝誕生まで』山川出版
- 溝側藍 子安増生(2015)「他者理解と共感性の発達」『Japanese psychological Review』58-3 pp. 360-371
- 宗内敦(1976)「精神病質人格の精神病理と精神力動」『都留文科大学研究紀要』12 pp. 1-20
- 山口正二(1999)「アバシー」『心理学辞典』有斐閣
- Mori Masahiro; Karl F. MacDorman; Narri Kageki (2012) "The Uncanny Valley[from the field]" IEEE Robotics & Automation Magazine 19-2 pp. 98-100
- Ran Dong, Yang Chen, Dongsheng Cai, Shinobu Nakagawa, Tomonari Higaki & Nobuyoshi Asai(2019) Robot motion design using bunraku emotional expressions – focusing on Jo-Ha-Kyū in sounds and movements. Advanced Robotics Volume 34, Issue 5 pp. 299-312
- Yang Chen, Ran Dong, Dongsheng Cai, Shinobu Nakagawa, Tomonari Higaki, and Nobuyoshi Asai(2019) The Beauty of Breaking Rhythms: Affective Robot Motion Design Using Jo-Ha-Kyu of Bunraku Puppet. In Proceedings of SIGGRAPH '19 Talks. ACM, New York, NY, USA p.2

(2020/03/21 受理)

(2020/03/31 改稿受理)

八王子車人形の動きを取り入れたロボットモーションデザイン —序破急を中心に—

董然* 早野慎吾** 何昱穎* 蔡東生*

Robot motion design using Hachioji Kuruma Ningyo
—Focusing on Jo-Ha-Kyu—

Ran DONG, Shingo HAYANO, Yuying HE, Dongsheng CAI

キーワード：序破急 インタラクション 感情表現

1. はじめに

近年、情報家電が急速に家庭に普及しており、そのインテリジェントハブとしてAI搭載ホームロボットが一気に普及することが予想される。そのような中、現在、音声による会話を実現したGoogle HomeやSiriなどのAIアシスタントの普及が進んでいる。しかし、音声だけによる対話はコミュニケーションとしての対話感覚に乏しく、音楽プレイヤー以外にはほぼ使われていない現状がある(Marchick 2018)。ホームロボットに関しては、高齢者からは、得体の知れないロボットと認識されることも多く、拒絶反応を起こす話者も多い。したがって、ホームロボットには、仕事をこなす機能だけでなく、コミュニケーションとしての対話感覚を感じさせる事が必要とされる。筆者らは、感情表現が対話感覚を感じさせる第一要因であるとの仮説を立てて研究を進めてきた。会話は対者のしぐさ、表情から感情を読み取れたときに安心と信頼を感じる(メラビアン効果)ことができる。

ロボットと人間の信頼をニューロ・ロボティックトラストが必要である。ロボットのような人工物に対して人間が対話感覚を感じるために「不気味の谷」と呼ばれる現象を解決する必要があることが指摘されている(Mori et.al 2012)。「不気味の谷」現象とは、人工物のロボットなどが人に似てくるにつれ感じられた親密感が急激に下がる現象をさす。

この「不気味の谷」現象を解決するヒントが文楽に代表される人形淨瑠璃にあると筆者らは考えた。人形淨瑠璃は安土桃山時代末期(1590年頃)に傀儡師と淨瑠璃が結合して成立したのであるが、400年以上の年月かけて、人形による感情表現を発達させてきた。現在、人形淨瑠璃の動作は、世界で最も美しい感情表現と賞賛されている。太夫の語りに合わせた演技動作は叙情的で、感動のあまり涙を流すこと観客がいるほど、強い感情移入が起る。本研究では、人形淨瑠璃の動きをAIロボットに学習させることで、対話感覚が成立するかを実践的に試みた。

本研究では、八王子車人形西川古柳座(国・選択無形民俗文化財)^{※1}家元の五代目西川古柳(以

* 筑波大学 **都留文科大学

後、家元)の「舞」を基礎データとして分析する。

2. 本研究の位置づけ

ロボットの発する音声に関する研究は近年盛んに行われ、高橋・中臺他(2011)では複数話者の音源定位検出を特定して、人とロボットの対話インターラクションを向上させている。吉田・中臺(2012)では、能動的に動くロボットの音源を特定するアクティブ視聴覚統合の研究を進めている。しかしながら、ロボットの音と動き、さらに複数ロボットでの音と動きを感性面から分析した研究は少ない。近未来において、同一空間に複数のロボットが共存するライフスタイルが想定されるが、そう考えると、複数ロボットの音と動きの快適性を制御するメカニズムを明らかにすることは重要な課題となる。本研究は、ロボットに抱く親密感という感性面の実践的研究である。

図1は、浄瑠璃人形のインターラクションメカニズムをロボットに応用する概念図である。人形浄瑠璃では複数(一体演目もある)の人形、太夫の語り、三味線の音楽が三位一体となって魅力的な舞台を創造する。その人形浄瑠璃から音(音声を含む)×動き×物語を融合させた方程式を抽出して、インターラクティブモーションデザインに適応させるのである。特に人形浄瑠璃の感情表現をAIロボットに学習させることで、より快適で魅力的な日常生活を演出できるものと想像する。

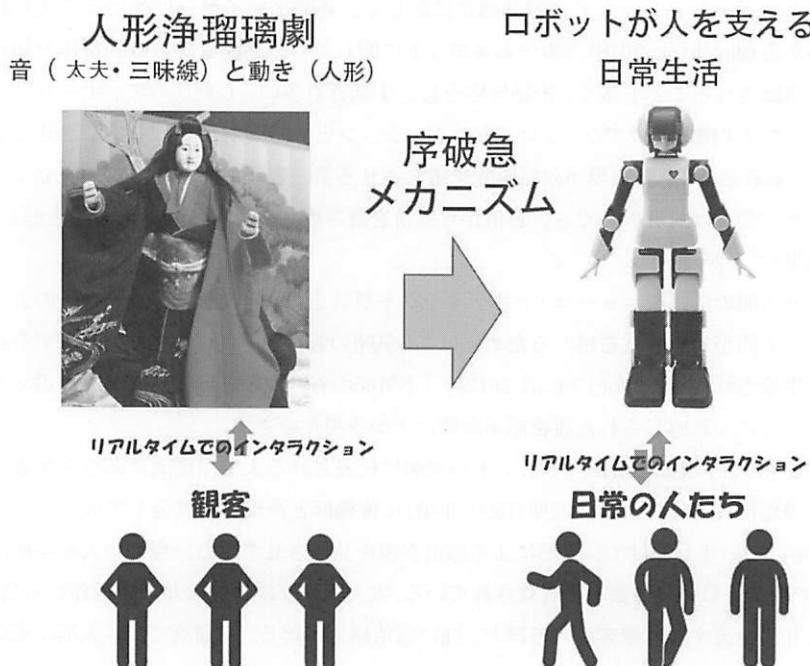


図1 人形浄瑠璃の音と動きのメカニズムをロボットに適応する概念図

人形浄瑠璃は太夫^{※2}、三味線、人形遣いの三業(さんぎょう)で構成される。太夫は「語り」、

三味線は「音楽」、人形遣いは「人形」を担当する。図1では、語りと音楽を合わせて「音」として表現している。文楽での人形遣いも三位一体で、主遣い、左遣い、足遣いが「頭(ず)」と呼ばれる主遣いの合図で呼吸を合わせる。

この演劇構成は、一定の型はあるものの定まった楽譜が存在しておらず、西洋音楽、舞台とは全く異なる相対的インタラクションメカニズムで構成されている。そのときの観客の雰囲気や状態でのアドリブ(即興)が加わるため、音楽のジャズ(jazz)に近い。この相対的メカニズムを人形浄瑠璃から抽出し、日常生活において人々とのコミュニケーション環境に適応することによって、ロボットがより自然に、人とインタラクションが行えるシステムの開発を行うことを目標としており、図1は、それを示している。伝統芸能の人形浄瑠璃に着目し、舞台で演じる人形の多様な動きを感情表現という分析する。動作の緩急を中心として人形浄瑠璃の動きのメカニズムの一端を明らかにし、ロボットのモーションデザインへの適用の可能性を探る。

3. 人形浄瑠璃人形

既に述べたとおり人形浄瑠璃は三業で構成するが、人形の種類は豊富である。早野(2019)では、桐竹勘十郎や西川古柳のような達人の操作する人形の所作を「高度なボディランゲージ」と表現しているが、一体の人形を三人で操る人形遣いの間にはノンバーバルコミュニケーションが行われており(櫻 2013)、先ほど述べた「頭(ず)」はそのひとつである。

三人遣いの文楽に対して、一人遣いの八王子車人形(図2)では、三人遣いで必要なノンバーバルコミュニケーション必要なく、他の人形や浄瑠璃(太夫・三味線)とのノンバーバルコミュニケーションに集中できる。



図2 一人遣いの車人形 古柳座家元

これまで、人形浄瑠璃文楽の所作(モーション)に関する研究は行われており、服部他(2000)では人形浄瑠璃の演技にある情緒性を解析し、文楽人形をロボットのモーションデザインに使用している。その研究では、人形浄瑠璃の特徴ともいえる動作の緩急に関する視点が欠けているが、本件研究では動作の緩急に重要を置いて分析しており、人形浄瑠璃の動作の緩急を「序破急」と表現する。そして、序破急が優れた感情表現につながっているとの仮説^{※3}を前提に分

析を進める。

4. 序破急について

序破急とは、雅楽の三部構成を意味していた。初部の序は無拍子で低速、中間部の破は拍子に合い、終部の急は急速となる構成である。この序破急との概念は、能楽や歌舞伎では脚本構成上の概念として使われるが、本研究では動作や音の「緩」と「急」の意味で用いる。能楽においても、この意味での序破急が演目のリズムにも現れており(図3)、時間に連れて徐々に上がっていくことが確認されている(丹波 2004)。能楽は、「謡(詞)」の序破急を用いて感情を表現しているとの研究もある(金春 1980)。人形浄瑠璃では、基本的に人形遣いが浄瑠璃(太夫の語りと三味線の音)に合わせて感情を表現する。この、太夫の語りと三味線のリズムが物語に合わせて演出される。

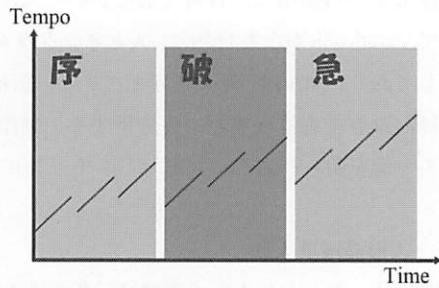


図3 序破急のイメージ

人形浄瑠璃の音楽には、一定の型はあるが楽譜はない。人形遣い、太夫、三味線は、観客の相対的なインタラクションでその場を演出する。太夫の詞や人形遣いの舞(動作)は、単なる歌や踊りではなく、優れた感情表現であり、叙事的でもある。

浄瑠璃における音曲、劇場音楽は西洋音楽とは異なり、一部転調もふくまれるが、主に、序破急と「問」において感情表現を行うことができる。「問」は単なる「止」ではなく、動作間を繋ぐ重要な役割を果たす。人形遣いは義太夫節に合わせて序破急と間ににより感情表現を行う。この序破急と問は、その場その場の三業のインタラクションで相対的に行う。繰り返し稽古した型のみを演じるのではなく、客やその場の雰囲気で適宜アドリブを入れるという非常にユニークなインタラクションである。

同じ用語を使用しても、芸能の種類(たとえば能楽や歌舞伎、狂言など)で異なる場合も多く、さらには同じ芸能でも流派によって異なることもある。その場その場の稽古現場で使われるため、本来の意味が変化していくのである。これは、言語の地域的バリエーション(いわゆる方言差)の成立と同じ原理である(早野 1996)。

また、感情表現には、演目全体の物語、太夫の語り、三味線の音楽、人形の動作など、さまざまな要素があるため、人間と対話する感情的な動きを作成することは非常に複雑である。そのため、本稿では、感情表現を人形のモーションに限定し、人形遣いが人形を操作して感情的な動きを表現するメカニズムにのみを研究対象とする。

5. 序破急を用いたロボットモーションデザイン

5.1 人形浄瑠璃のモーションキャプチャデータ採集

丹波(2004)は、能楽においては図3が示す九段階の構造からなるリズムによって構成されて

いるのに対し、淨瑠璃はこの定式化を捨て、ドラマの展開によるテンポの緩急の劇構造を打ち立てることにより近代性をつけ加えると論じているが、その手法については明らかにしていない。

今回、対象とする演目は『日高川入相花王』「渡し場の段」で、その所作を分析する。『日高川入相花王』のストーリーを簡単に解説する。朱雀天皇が弟の桜木親王に皇位を譲ろうとするが、親王は、左大臣藤原忠史に冤罪をねつ造されて追われる身となる。そこで山伏安珍に姿を変えて紀州に來るのであるが、そこで真那古庄司の娘の清姫が安珍に恋心を抱く。しかし、安珍は心変わりをして去って行く。そこで、怪僧剛寂にそそのかされた清姫は嫉妬に狂うのであるが、その嫉妬に狂う場面が「渡し場の段」である。愛情、嫉妬、執着、葛藤、絶望などが入り交じた女心を表現する場面であり、人形遣いの力量が試される。西川古柳座家元の舞は、その女心を見事に演出していた。

図4は五代目西川古柳の舞をモーションキャプチャでデータ収集している状況である(清姫の服装は動きやすい軽いものに、変えている)。



図4 古柳座家元の舞からのデータ収集

5.2 人形淨瑠璃を用いたロボットモーション生成

図5は、古柳座家元の舞(上段)をプリメイド AI(下段)というロボットに学習させて再現した画像である。ロボットは関節の可動域が狭いため、家元のダイナミックな動きをそのまま再現はできないが、型の動きは再現できた。

図6は古柳座家元の主要な関節（首、右手、左手、腰）のモーションスピードを示したものである。緩急の差が大きく、非常にきれいな序破急の状況を示している。各要素で分析すると右手の動きが突出して緩急の差が激しいことがわかる。これは、人が利き腕(清姫は右利き)の動きが大きくなるという理由だけでなく、車人形の特徴にもよる。図7のように車人形では右手は使い手が直接持つて操作するので、もっとも自由度が高い。使い手の左腕は首(かしら)を持っている。そのため人形左手の肘に「弓手(ゆんで)」が仕込まれていて、右手首につないだ紐と左手の指で

操作するため、可動範囲が狭くなる。図 6 のデータでは、左手の角速度は右手よりも明らかに小さいが、家元の舞を見ても不自然さはない。

首(かしら)は、手の動きに合わせた序破急が観察できる。動きは小さいながら、首の動きが非常に重要である。図 6 から、手の序破急に連動して首と腰が小さな序破急を成立させている。つまり家元の舞は全ての動きにおいて全身で序破急を作っている。



図 5 プリメイド AI の舞

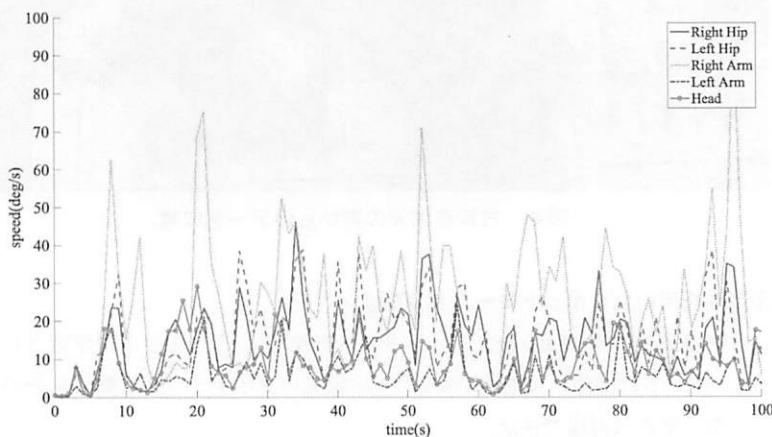


図 6 家元車人形モーションの主要関節の角速度

図 8 が示しているのは、生成したロボットモーションの主要な関節（首、右手、左手、腰）の 1 分 40 秒のモーションスピードである。図 6 からわかる家元の動きに比べると、緩急の差は小さいが、それでも各関節で序破急の動きは実現できた。家元の動きに比べて首と腰の序破急が小さいのは、可動域が狭いというロボットの構造上の問題で、これは、可動域を拡大したロボットを製作すれば解決できる。注目すべきは左手の動きである。家元の動きよりも右手・左手の差が

小さい。家元の動きを基データとしていても、プログラムによって修正していくことが可能となる。ただし、人形浄瑠璃に必要な「円の動き」がスムーズに行えず、角(かど)の動きが解消できなかった。早野(2020)では、円の動きと序破急が人形浄瑠璃の動きの特徴と解説している。この角の動きを解消できれば、より家元に近づけると考えられる。

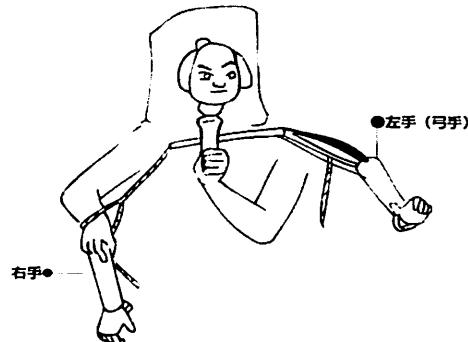


図7 車人形の左右の手の操作(はちおうじ車人形研究会 1996 p. 70)

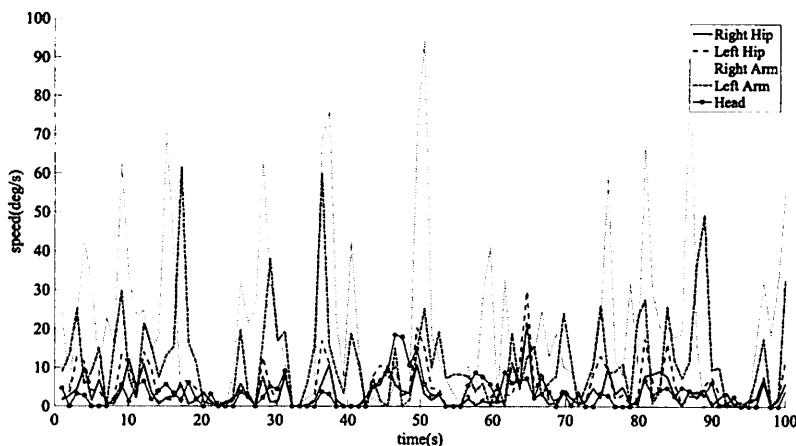


図8 日高川入相花王ロボットモーションの主要関節の角速度

6. おわりに

本研究では、日本の伝統芸能人形浄瑠璃(八王子車人形)の序破急メカニズムの解析と、それを利用した感情表現ロボットモーションデザインを行った。本研究の要点を以下の項目でまとめる。

- (1) 古柳座家元の感情表現モーションをキャプチャデータで採集した。
- (2) 採集したデータを用いて、ロボットモーションを作成した。
- (3) 作成したロボットモーションに序破急の実現は成功した。

本研究で解明した淨瑠璃人形の動きおよび感情表現の序破急メカニズムは、ロボットモーションの感情表現生成に寄与できる。人形淨瑠璃から抽出した序破急を自動生成することで新しいコミュニケーションモーションデザイン法が確立する可能性が考えられる。また、淨瑠璃人形の感情表現は、ロボットが「不気味の谷」を克服する可能性がある。伝統芸能からロボットへの応用は、コミュニケーションロボットに基づいたAIアシスタントの設計に指針を与えると考える。今後は、序破急がどのような原理で人間の感情表現とつながるのかを明らかにして、さらに序破急や間の実現を人の声のテンポに合わせて生成することを今後の課題にしたい。

【注】

1. 八王子車人形西川古柳座は、江戸末期に江戸文楽師の西川伊三郎に師事した山岸柳吉(初代西川古柳)が三人遣いの文楽から変化させた人形淨瑠璃。系譜などに関しては、はちおうじ車人形(1996)が詳しい。
2. 淨瑠璃の語りを「たゆう」というが、「太夫」「大夫」の二つの表記がある。以前はすべて「太夫」を使っていたが、現在の文楽協会では「大夫」に統一している。藤田(2011)は「令制の五位(勅授の位階)の通称である大夫から転用されたといわれる。戦後になって豊竹山城少掾が、もともとの語源であるこの「五位の大夫」の権威を示すために淨瑠璃の主流たる義太夫節は「太」の点を取るべきだと提唱したことによるという説が有力である。」(p. 243)と解説する。
3. 能楽や歌舞伎に共通する基礎的動作に「円の動き」がある。実際には八の字であったり、梢円であったりするのであるが、弧を描く動作を総称して「円の動き」と称する。この動作は緩急を付けて行われるが、その動作が優れたボディランゲージとして人間の基礎的感情を表現していると早野(2019:p. 5)では分析している。

【参考文献】

- 金春國雄(1980)『能への誘い—序破急と間のサイエンス』 淡交社
櫻哲郎 成田友紀 沢井和也 森田寿郎 植田一博(2013)「文楽人形遣いの協調操作を実現する非言語情報通信」『電子情報通信学会論文誌 D』96(1)pp. 195-208
丹波 明(2004)「「序破急」という美学」『現代によみがえる日本音楽の思考型』 音楽之友社
高橋徹 中臺一博 石井 Carlos 寿憲 Jani·Even 奥乃博(2011)「環境下での音源定位・音源検出の検討」『第 29 回日本ロボット学会学術講演集』 p. 110
はちおうじ車人形研究会編(1996)『八王子車人形』のんぶる舎
服部元史 辻誠彦 田所諭 高森年 山田和人(2000)「人間型ロボットの動作生成において情緒を強調する一手法：初期時刻を変化させた KM20-Langevin 方程式を用いた文楽人形の演技動作の解析」『日本機械学会論文集 C 編』66(644) pp. 1236-1242
早野慎吾(1996)『首都圏の言語生態』おうふう
早野慎吾(2019)『八王子車人形西川古柳座 1』日本語文化の研究別冊 3

早野慎吾(2020)「文楽人形と魂に関する社会心理学的研究—他者理解と擬人化—」『日本語文化の研究』3 pp. 1-12

藤田洋編 (2011)『文楽ハンドブック』三省堂

吉田尚水 中臺一博(2012)「ロボット聴覚のための因果モデルを用いたアクティブ視聴覚統合発話区間検出の検討」『第30回日本ロボット学会学術講演集』p. 162

Mori, Masahiro, Karl F. MacDorman, and Norri Kageki (2012). "The uncanny valley [from the field]." IEEE Robotics & Automation Magazine 19.2: pp. 98-100.

Adam Marchick(2018). "The 2017 Voice Report." Alpine(fka VoiceLabs.co)

Ran Dong, Yang Chen, Dongsheng Cai, Shinobu Nakagawa, Tomonari Higaki & Nobuyoshi

Asai(2019) Robot motion design using bunraku emotional expressions - focusing on Jo-Ha-Kyū in sounds and movements. Advanced Robotics Volume 34, Issue 5 pp. 299-312

Yang Chen, Ran Dong, Dongsheng Cai, Shinobu Nakagawa, Tomonari Higaki, and Nobuyoshi Asai. 2019. The Beauty of Breaking Rhythms: Affective Robot Motion Design Using Jo-Ha-Kyū of Bunraku Puppet. In Proceedings of SIGGRAPH '19 Talks. ACM, New York, NY, USA p. 2

付記:本稿をまとめるにあたり五代目西川古柳氏、竹本乾太夫氏、野澤仁一郎氏にご協力頂いた。記して感謝申し上げる。本稿は、董然がデータ解析に関してまとめたものに早野慎吾が人形浄瑠璃(特に八王子車人形)の内容を加筆して整理したものである。なお、データ解析では蔡東生の指導を受けており、データ整理では何昱穎が加わっている。

(2020/03/01 受理)

(2020/03/30 改稿受理)

2020年2月8日筑波大学東京キャンパス文京校舎プレス発表
「人形浄瑠璃と先端技術の融合を目指した、伝統芸能の新たな取り組み
—人と人形のインタラクション—」の報告

蔡東生(筑波大学)

Press Conference Report: A New Multi-Disciplinary Approach by Traditional Performing Arts to Merge Ningyo Joruri and Advanced Technology

Dongsheng CAI

2020年2月8日筑波大学東京キャンパス文京校舎でのプレス発表「人形浄瑠璃と先端技術の融合を目指した、伝統芸能の新たな取り組み—人と人形のインタラクション—」を簡単に報告します。

1. プレス発表の意義

UNESCO 世界文化遺産人形浄瑠璃文楽は世界の傑作、世界で最も美しい感情表現(所作・型)と言われています。特に、人形浄瑠璃や能は、私たちが親しんでいる現代音楽、舞踊と全く異なる「序破急」という言葉に表される独特の語りと動作のリズム変化を用いた感情表現により、人の喜怒哀楽から、微妙な女心までを義太夫の語りと人形の所作で見事に表現してきました。この世界で最も美しいと言われる感情表現の体得は長く厳しい修行が必要とされてきました。また、修行と経験が重要視されてきたため、感覚の要素が大きく、ほとんど、研究されませんでした。

特に、世阿弥らによって集大成された能・文楽における序破急原理は、リズム・テンポ等の音楽要素を漸次的に、刺激の強さが相対的であるというフェヒナー則に従いインタラクティブに緩急等として変化させる非決定的なメディアデザイン法です[1]。音価、リズム等の音楽要素等が非決定的で、自由にインタラクティブに変化できますが、メディアの時間構成法が厳密に決まっており、決して即興的ではありません。美しいインタラクティブ性と感情表現に優れており、この古くて新しいメディアデザイン法は、人と AI、人とロボットが共存していく近未来では重要なものとなることが予想されますが、やはりあまり研究されませんでした。

筑波大学ビジュアル計算数学研究室、都留文科大学早野研究室は共同で、図1のように世界文化遺産人形浄瑠璃文楽の三業（義太夫、人形遣い、三味線）の「音×リズム×動き×序破急+AIクラウド」により、文楽の世界で最も美しい感情表現をベースに、ロボットの感情表現をデザインし、AI クラウドを利用した人とロボットがストレスなく双方が信頼をもてる環境デザイン研

究を行ってきました。本研究では、序破急を使った文楽人形動作をモーションキャプチャで採取し、ロボット動作として深層学習[2]させ、ホームロボットの感情表現デザインを「音×リズム×動き×序破急+AI クラウド」により実現することを目指します。序破急デザイン法は近代音楽とは全く異なる原理です。これは、最新のAI等の技術発展により初めてその利用が可能となります。

具体的には、長い修行を要する人形浄瑠璃の美しい動きをAIに学習させ、どこまで市販のロボットでこの美しい感情表現が再現できるか本研究グループは研究してきました。人形遣いの名人と言われる桐竹勘十郎氏(文楽座)および五代目西川古柳氏(西川古柳座)の動きをモーションキャプチャで測定し、そのデータをAIに学習させた後、モーションをロボットに移植します。西川古柳氏から詳細なアドバイスを受けながら動きの微調整を行い、美しい動きになるように研究を進めてきました。来年のオリンピックに向けてのデモンストレーションを目指しており、今回、そのロボットによる人形浄瑠璃の動きの一部を記者発表することになりました。



図 1: ①世界無形文化遺産の文楽は世界で最も美しい感情動作表現であり、図は、「立ち膝」「見返り」という文楽の型、②文楽は3人の人形遣いで操作（左）、単純だが、複雑な表現が可能なリンク構造を持つ（左はリンクにモーションセンサ付加）③文楽は語りを行う義太夫、三味線、人形遣いの三業から舞台構成される④非決定的音楽である序破急と間（破調）の構造⑤文楽カラクリ人形⑥人間とロボットが文楽の序破急とクラウドAIにより日常的にインタラクションを行う環境デザイン

2. プレス発表の内容

以下の内容でプレス発表を行いました

2.1. AIによる人形浄瑠璃ロボットの開発

本発表では、まず、図2のように、西川古柳、竹本乾太夫(太夫)、野澤仁一郎(三味線)の三氏により、『日高川入相花王』渡し場の段を実際の文楽人形で演じてもらい、次に図3のように市販されているダンスロボット、DMM.make ROBOTS 社のプリメイド AI(TM)、を竹本乾太夫、野澤仁一郎の両氏の淨瑠璃で演じました。その後、西川古柳氏にロボットの所作を評価してもらい、竹本乾太夫氏、野澤仁一郎氏にロボットとの共演の感想を述べてもらいました。



図2：西川古柳氏による舞



図3：ロボットによる共演

2.2. 『AKUTAGAWA』上演に関する取り組み

国・選択無形民俗文化財の西川古柳座と米国最大の人形劇団であるシカゴ国際パペット劇場祭の共同作品『AKUTAGAWA』が、東京都が主導する文化プログラム Tokyo Tokyo FESTIVAL に採択されました。内容は、文豪である芥川龍之介の半生を演出した作品ですが、芥川龍之介であって芥川龍之介でない世界を展開します。そのため作品名も『AKUTAGAWA』となります。今回の発表

では、本公演の取り組みとねらい、作品の紹介を西川古柳先生が簡単に述べられました。西川古柳氏は「私たちが芥川の作品から感じたメッセージを表現した作品で、人生とは何か、目に見えるものの背景にあるものとは何かを、観客に考えてもらいたいと思っています」と述べられました。

2.3. 八王子車人形西川古柳座と吉本芸人のコラボ演出

人形浄瑠璃文楽では、18世紀に三人遣いが考案されました。そのため複雑な感情表現の演出に成功したのです。江戸時代末期、その文楽の動きを「ろくろ車」を使うことで三人遣いの動きを一人遣いで演じることを可能にしたのが車人形です。今回、西川古柳座と吉本興業のコラボを企画中で、その企画を国際夫婦漫才コンビフランポネさんに紹介してもらいました。

3. まとめ

今回、事前の準備不足、広報活動不足により、来場者は少なかったのですが、西川古柳、竹本乾太夫、野澤仁一郎の三氏による『日高川入相花王』渡し場の段の実演と、ダンスロボットプリメイドAI(TM)、竹本乾太夫氏、野澤仁一郎氏の共演比較は、今後のAIロボット可能性、将来性の高さを十分うかがわせるものがありました。研究の方向性の正しさを十分に証明できる共演実験であったと言えます。

人形浄瑠璃の動きはダイナミックで、二足歩行ロボットは安定性の問題からダイナミックな動きはできません。そのため、このダイナミックな動きを可能にする専用のロボットの開発が待たれることが理解できました。また、今後、AIの学習データをより充実させ、『日高川入相花王』だけでなく、より長くより複雑な演目をこなしていくことにより、AIロボットの感情表現をより完成度の高いものにしていくことを確信しました。まお、本研究のメンバーは次の通りです。

董然(研究代表者: 東京工科大学)、蔡東生(研究責任者: 筑波大学)、早野慎吾(研究責任者: 都留文科大学)、劉飛、何昱穎、談子駿、陳暘(以上研究協力者: 筑波大学大学院)、西川古柳、竹本乾太夫、野澤仁一郎(以上技術協力者)

[1]丹波明,現代によみがえる日本音楽の思考型:「序破急」という美学. 音楽之友社, 2004.

[2]D. Holden, J. Saito, T. Komura, and T. Joyce, "Learning motion manifolds with convolutional autoencoders," in SIGGRAPH Asia 2015 Technical Briefs, 2015, pp. 1-4.

外国人児童生徒支援のための「学校通知文作成ソフトウェア(フランス語版)」

(Ver. 1.0 2020/03/30)

早野慎吾 宮田好恵 松井洋子 島岡学 島岡プリシラ

1.はじめに

「外国人児童生徒支援のための学校通知文作成ソフトウェア(フランス語版)」は、フランス語ができない学校関係者が、フランス語で通知文を作成するためのソフトウェアである。本ソフトウェアはマイクロソフト社のエクセル(Excel)を使用して作成したものであり、使用するためにはエクセルが必要である。

本ソフトウェアは「学校通知文例集」「語彙集」「説明書」からなる。本ソフトウェアは全国の学校で対応できるように、使いやすさを重視して、記載事項を基本的なものだけにとどめておいた。複数の県で学校通知文を調査したところ、挨拶文や担当者、また書式などはさまざまであったが、通知する必要事項は非常に限られていることがわかった。その必要事項を抽出したものが基本となっている。使い方は、通知文例集の中から該当する内容(「入学式」「運動会」など)を開き、不必要的項目(行)を削除すれば基本的な部分ができあがる。さらに、個別に入力する日付、場所や付け足したい事項を「語彙集」からコピーしてペーストすれば通知文が完成する。日本語の項目を見て作業すれば、英語併記の通知文が完成するという仕組みになっている。

2.本ソフトウェア作成の経緯

近年、第二言語として日本語JSL (Japanese as a Second Language)を学ぶ子どもが急増してきている。その結果、学校現場ではコミュニケーションの手段である日本語ができず、文化的背景も異なる児童生徒の就学という事態に直面することとなった。日本語学校は基礎的な日本語教育を目的としており、学校教育は教科教育を中心とする学力向上を目的としている。JSL児童に対しては、日本語教育と教科教育の両方に対応しなければならない。学校教育の現場では日本語教育の経験がない学校教師が、その対応を行っている現状がある。

さらに、未成年を対象としている学校教育では、保護者とのコミュニケーションが不可欠である。JSL児童生徒は学校で日本語を学習できるが、その保護者は日本語学習に状況的に恵まれていないことが多いため、日本語では簡単なコミュニケーションしかできない話者たちも多い。通知文レベルの日本語表記を読めない保護者はさらに多い。遠足、運動会、家庭訪問、授業参観などの行事に関しては、保護者の同意や協力が必要である。しかし、日本語で通知文を書いても理解することは難しい。それでは保護者の母語で書けばよいのだが、外国語に精通している学校教員はほとんどいない。八方塞がりの状態である。

都留文科大学の早野慎吾を代表とする研究グループでは、2004年度から外国人児童生徒の実態調査を行ってきたが、JSL児童生徒を受け持っている教員の多くが学校通知文作成に困惑していた。特に外国人児童が少人数しかいない学校では、通訳をつけることができずに、すべてを担当教員が抱え込んでいるという状況にある。この現況を解決するために作成したのが、本ソフトウェアである。

外国人児童生徒多数地域では、通訳が保護者の母語に翻訳した通知文を作成している例が多い。たとえば、栃木県真岡市教育委員会が作成した「真岡市日本語教室通知文例集」。これに記載されている通知文は、日本語表記の下部に外国語訳(ポルトガル語・スペイン語・英語)が記載されている。日本語表記を通訳が外国語に翻訳したのである。その通知文は日本語と外国語が併記されているために、担当教員と外国語話者(保護者)のどちらも内容が理解できるという利点がある。いろいろと調べてみると、外国人児童生徒の多い地域では、同じような通知文例集を作つて対応していることがわかった。このような通知文の最大の欠点は、翻訳者が必要ということである。真岡市は、外国人児童生徒が200人を超える外国人児童生徒多人数地域で、ポルトガル語・スペイン語に精通した通訳がいる。そのため、各学校にあった外国語・日本語併記の通知文作成が可能となる。

問題は、通訳がない少人数地域および少人数校である。在籍数でいうと5人未満の学校が全体の約70%(7,020校のうち、5,291校)を占めており、在籍人数別市町村数でも全体の約半数(825市町村のうち、387市町村)が5人未満となっている(文部科学省平成28年度調査)。そのような少人数地域および少人数校では、通訳を雇っていない場合も多く、雇っていてもネイティブスピーカーというだけで、逆に日本語に難のある場合もある。JSL

児童の通訳として雇ったが、1年も経たずに通訳よりも児童の日本語力の方が上になったという例もある。少人数地域では、適切な通訳を雇うのも困難な状況にある。

通知文を作成するための文献もあり、また外国語訳された通知文をホームページに掲載している例もある。しかし、知識のない外國語を入力するだけでも大変で、実際に通知文を作成しようとしてもできない場合が多い。本ソフトウェアは、通訳がおらず、さらに英語の知識がない学校関係者を想定して作成している。複雑な内容には対応できないが、基本的な通知文に関しては、短時間で作成できるように考慮している。

3. 本ソフトウェア作成者について

本ソフトウェアは、早野慎吾を代表とする研究グループが作成したものである。全体の総括および構成は早野慎吾が行った。基礎的項目のデータ入力で中心的に活動したのは小田原恵美子である。本ソフトウェア(フランス語版)では、早野慎吾、宮田好恵、松井洋子の3名が東京都多摩地区の小学校調査を行い、島岡学・島岡ブリシラがフランス語の翻訳を担当した。

各学校の実態調査には、上記メンバーの他、松井洋子、佐藤和之、宮田好恵が行った。本ソフトウェアの著作権は早野慎吾および立川日本語・日本語教育研究所が有する。外国人児童生徒の支援目的であれば、誰でも無料で使用できる。

研究代表者 早野慎吾(都留文科大学)

【参考文献】

- 青山亨監修 早野慎吾編(2019)「外国人児童生徒支援のための「学校通知文(インドネシア語版)」」「外国人児童生徒への日本語支援研究(CD付)」pp. 25-62
- 早野慎吾 小田原恵美子 川添桃 デボラオチ(2009)「外国人児童生徒支援のための「学校通知文(ポルトガル語版)」について」『宮崎大学教育文化学部紀要』人文科学 20pp. 77-107
- 早野慎吾 小田原恵美子 川添桃 デボラオチ(2009)「外国人児童生徒支援のための「学校通知文(英語版)」について」『宮崎大学教育文化学部紀要』人文科学 21pp. 35-65
- 早野慎吾 小田原恵美子 川添桃 デボラオチ(2009)「外国人児童生徒支援のための「学校通知文(中国版)」について」『宮崎大学教育文化学部紀要』人文科学 21pp. 35-65
- 早野慎吾(2019)「外国人児童生徒に対する日本語支援研究」「外国人児童生徒への日本語支援研究(CD付)」pp. 2-11
- 松井洋子(2008)「多言語化する学校教育に求められる役割」『地域文化研究』2 pp. 1-10

(付記)

本研究は、H31年度 都留文科大学特別教育研究費交付金(50万円)により行われた研究成果の一部である。

1. 通知文例集・語彙集の使い方

* 文例集のファイルと語彙集のファイルがあります。

フランス語中心の通知文を作成する時は文例集ファイル、日本語で作成されたものにフランス語を加える時は語彙集のファイルを使います。

文例集の使い方

- 通知文例集の各シートには XX で記されている部分に必要事項を入力する。

日付・曜日・学校名・校長名・行き先等、それぞれのセルをクリックして入力する。

- 必要でないものは行ごと削除する。

* は二者択一(遠足・集金)。不要な方を必ず削除する。

- 印刷する。

罫線印刷は“なし”で設定。

フランス語では
日/月/年の順番で表記
例. 2008年5月1日は
01/05/2008と入力

曜日は、語彙集
カレンダー欄を
参照

				日	月	年
				01/	05/	2008
		学校名 Nom de l'école	Tachikawa	-syogakko		
		校長 Principal		Tachikawa	Ichiro	
保護者各位						
Parents/tuteurs						
		遠足の実施について(お知らせ)				
		Information pour les sorties scolaires				
			日	月	曜日	
日時	Date		20/	05	(lundi)	
		*	雨天決行	Maintenu même en cas de pluie		
		*	雨天中止	Annulé en cas de pluie.		
2	行き先(方面)	Destination		PHENIX DOUBUTUENN		
3	日程	Programme	学校集合	Rassemblement à l'école	8:20	
			学校出発	Départ de l'école	9:00	
			学校着	Retour à l'école	15:00	
			解散	Heure de fin	15:20	
4	費用	Coûts		¥ 1,500		
			交通費	Transport		
			入場料	Entrée		
			その他	Autres		
			集金日:5月10日	Jour de collecte de l'argent	10/05	

* は選択
どちらか
を削除

必要な
ものは、
行ごと
削除

語彙集の使い方

時間割・通知文などの日本語の上に、語彙集を参照しフランス語を書き加える。

曜 Jour	月 日	火 14	水 15	木 16	金 17	
行事	Rassemblement matinal 全校朝会（朝礼）	Collecte d'argent 集金	Excursion 遠足		Cérémonie de clôture 終業式	
1	Japonais 国語	Musique 音楽		Japonais 国語	Mathématique 算数	
2	Science 理科	Travaux manuels 図画工作	遠	Japonais 国語	Libre-étude 総合学習	
3	Education physique 体育	Travaux manuels 図画工作		Education physique 体育	musique 音楽	
4	Mathématique 算数	Libre-étude 総合学習	足	Culture générale 社会	Cérémonie de clôture 終業式	
給食	Déjeuner scolaire/cantine ○	○	×	○	○	
5	Culture générale 社会	Calligraphie 書写		Mathématique 算数	Activités en classe 学級活動	
6				Activités de club クラブ活動		
準備物	Tenue pour le service Repas 給食着 Masque マスク Brosse à dent 歯ブラシ Tasse/verre コップ	Flûte à bec リコーダー Ciseaux はさみ Colle のり Matériels à peinture 絵の具	Pique-nique 弁当 Gourde すいとう Goûter おやつ Esteira para sentar しきもの	Maillot de bain 水着 Matériel pour le club クラブの用意	Flûte リコーダー	
Vacances d'été もうすぐ夏休み				Récolte de l'argent (frais) durant le mois de 7月の集金のお願い		
Dumoisjour aumoisjour compris. 7月19日から8月31日まで夏休みです。 夏休みの生活の決まりをよく守って、健康で楽しい毎日を過ごしましょう。 Jour d'école, lemoisjour et lemoisjour 登校日は 8月1日（金）と8月21日（木）です。 Objets à prendre: pantoufles et trousse 《持ってくるもの》 上靴・筆箱				Frais pour le bus d'excursion 遠足バス代 ¥ 1, 500 Frais pour la classe + 学級費 ¥ 300 total 合 計 ¥ 1, 800		

通知文例集目次

入学式
卒業式
定期健康診断
参観日
家庭訪問
個人面談
運動会
遠足
修学旅行(宿泊学習)
持ち物(修学旅行)一覧
PTA総会
バザー
労働奉仕作業
日課変更
緊急時(台風)
緊急時(地震)
集金
欠席・遅刻届
持ち物

Table des matières: exemples de lettres de notification aux écoles

Cérémonie d'entrée
Cérémonie de remise des diplômes
Contrôle de santé périodique
Journée Portes Ouvertes
Visite à domicile par l'enseignant
Entrevue individuelle
Journée sportive
Excursion
Voyage d'étude (séjour d'une nuit ou plus)
Listes des choses à apporter (Excursion/voyage d'étude)
Assemblée générale PTA
Bazar/Marché
Travail d'entretien, de service
Changement, modification d'horaire scolaire
Urgence (Typhon)
Urgence (Tremblement de Terre)
Collecte de dons
Avis Absence/Arrivée tardive
Choses à apporter

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

入学式の実施について(お知らせ)
Information concernant la Cérémonie d'Entrée

1 期日	Date	月 (mois)/	日 (曜日) (jour) (jour de la semaine)
2 場所	Lieu	体育館	Gymnase
3 日程	Programme	受付 式典 学級活動	Accueil Cérémonie Activité en classe
4 持ってくる物	Choses à apporter	入学通知書 体育館シューズ 上靴/スリッパ (保護者の方もご用意ください)(pour les parents/tuteurs aussi, svp) 袋(教科書、学用品を入れる)	Notification de rentrée scolaire Chaussure de sport d'intérieur Chaussure d'intérieur/pantoufle (pour les parents/tuteurs aussi, svp) Cartable (pour le matériel scolaire, cahiers, manuels, etc.)

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

卒業式の実施について(お知らせ)
Information concernant la Cérémonie de remise des diplômes

1 期日	Date	月 (mois)/	日 (　曜日) (jour) (jour de la semaine)
2 場所	Lieu	体育館	Gymnase
3 日程	Programme	受付 式典 学級活動	Accueil XX:XX～XX:XX Cérémonie XX:XX～XX:XX Activité en clas. XX:XX～XX:XX
4 持つくる物	Choses à apporter	体育館シユーズ 上靴/スリッパ (保護者の方もご用意ください)	chaussures de sport chaussures d'intérieur (pour les parents/tuteurs aussi s'il vous plaît)

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tutueurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

定期健康診断の実施について(お知らせ)
Bilan de santé périodique (Informations)

定期健康診断を下記の通り実施いたしますのでお知らせします。

Les bilans de santé périodiques seront effectués comme indiqué ci-dessous.

検査内容	Contenu de l'examen	mois (月)	jour (日)
身体測定	Mesure de la taille et du poids		
内科検診	Examen général		
歯科検診	Examen dentaire		
眼科検診	Examens des yeux		
耳鼻咽喉科検診	Examen d'oto-rhino-laryngologie		
視力検査	Test de vue		
色覚検査	Test de perception des couleurs		
聴力検査	Test auditif		
尿検査	Analyse urinaire		
心電図検査	Electrocardiogramme		
ツベルクリン反応検査	Dépistage de la Tuberculose		
寄生虫卵検査	Examen parasitologique		

検査結果は後日連絡します。

Les résultats vous parviendront quelques jours après l'examen.

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

参観日の実施について(お知らせ)
Information concernant la journée de visite des classes

1 期日 Date 月 日 (曜日)
(mois)/ (jour) (Jour de la semaine)

2 場所 Lieu 各学級 dans chaque classe
運動場 terrain de sport
体育馆 gymnase
理科室 laboratoire de science
音楽室 classe de musique
調理室 salle de cuisine

3 日程 Programme 授業参観 Visite des classes XX:XX~XX:XX
学級懇談 Réunion de classe XX:XX~XX:XX
児童下校 Les élèves quittent l'école XX:XX

4 想談内容 Ordre du jour de la réunion 学校生活について Informations sur la vie scolaire
通知表の見方について Informations sur la lecture du bulletin scolaire
夏休みの過ごし方について Informations concernant les vacances d'été
冬休みの過ごし方について Informations concernant les vacances d'hiver
春休みの過ごし方について Informations concernant les vacances de printemps
学校行事の説明 Informations concernant les événements scolaires

月 日 年
(mois)/ (jour) (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

家庭訪問の実施について(お知らせ)

Information concernant la visite des professeurs à domicile

1 期日 Date 月 日 曜日
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)
時 分
XX heures XX minutes

2 内容 Contenu de la visite 家庭での子供の様子

Observation des conditions de vie de l'élève

学級や学校での子供の様子

Discussion du comportement de l'élève dans ces études et à l'école

健康等、担任に知らせておきたいこと

Discussion sur les éventuelles inquiétudes du professeur concernant l'élève

3 その他 Other

都合がつかない場合は、下記の用紙に記入して〇月×日までにお知らせください。

Si la rencontre n'est pas possible pour x raison,
merci de proposer une autre date.

日程変更希望届
Disponibilité date/heure

学年 年組 児童生徒名
année classe nom de l'élève

保護者名
nom du parent/tuteur

都合のよい時間を書いてください。

Veuillez entrer vos disponibilités:

月 (mois)/	日 (jour)	時間 heure	時 heures	分 minutes
月 (mois)/	日 (jour)	時間 heure	時 heures	分 minutes

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

個人面談の実施について(お知らせ)
Information pour l'entretien individuel

1 期日 Date 月 日 (曜日)
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)
XX時XX分からXX時XX分まで XX:XX～XX:XX

2 場所 Lieu de réunion 教室 salle de classe

3 面談時間 Durée de l'entretien 一人あたりXX分 XX minutes par personne

4 内容 Contenu de l'entretien 家庭での子供の様子
Observation des conditions de vie de l'élève
学級や学校での子供の様子
Discussion du comportement de l'élève en classe et à l'école.
健康等、担任に知らせておきたいこと
Discussion des points concernant l'élève qui inquiète le professeur

5 その他 Autres 都合がつかない場合は、下記の用紙に記入して〇月×日までにお知らせください。
Si l'entretien n'est pas possible,
veuillez en informer l'école avant le (date).

日程変更希望届
Avis date possible/heure

学年 組 児童生徒名
Année: Classe: Nom de l'étudiant:

保護者名
Nom du parent/tuteur

都合のよい時間を書いてください。
Veuillez entrée vos disponibilités:

月 日 時間 時 分
(mois)/ (jour) Temps XX heures XXminutes

月 日 時間 時 分
(mois)/ (jour) Temps XX heures XXminutes

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

運動会の実施について(お知らせ)

Information concernant la journée sportive

1 期日 Date 月 日 曜日
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)

雨天の場合XX日に延期します。En cas de pluie, la rencontre sera reporté au (jour).

2 場所 Lieu 運動場 Terrain de sport

3 日程 Programme 開会 Début XX:XX
閉会 Fin XX:XX

4 服装 Vêtements 赤白帽子 Chapeau rouge et blanc
体操服 Tenue de sport de l'école

5 その他 Autre

予定通り実施の場合は、午前6時に花火で合図をします。

Si tout se passe comme prévu, des feux d'artifices seront lancés à 18h.

雨で延期の場合は、連絡網でお知らせします。

Si de la pluie amène à décaler l'événement à une autre date, une annonce sera faite via le réseau de contact.

6 お願い S'il vous plaît

車を路上に駐車しないようお願いいたします。

Merci de ne pas stationner sur la route.

指定駐車場は次の通りです:

Les places de stationnement sont attribuées comme suit:

徒歩、または自転車でおいでくださるようお願い申し上げます。

Veuillez venir à l'école à pied ou à vélo.

ごみは家に持ち帰るようお願いいたします。

Veuillez récupérer vos déchets.

保護者各位
Parents/tuteurs

月 (mois)/ 日 (jour)/ 年 (année)

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

遅足(校外学習)の実施について(お知らせ)
Information pour les sorties scolaires

1 期日	Date	月 (mois)/	日 (jour) (jour de la semaine)
	* 雨天決行	Maintenu même en cas de pluie	
	* 雨天中止	Annulé en cas de pluie	
2 行き先(方面)	Destination	XXXXX	
3 日程	Programme	学校集合	Rassemblement à l'école
		学校出発	Départ de l'école
		学校着	Retour à l'école
		解散	Heure de fin
4 費用	Coûts	¥ XXXX	
	交通費	Transport	
	入場料	Entrée	
	その他(XXXX)	Autres (XXXX)	
	集金日: ○月 X日	Jour de collecte de l'argent	○ / X
5 持ち物	Objets à apporter	リュック	sac à dos
		弁当	pique-nique (bento)
		おやつ(円まで)	petite collation (jusqu'à ¥ XX)
		ゴミ袋(ビニール袋)	sac en plastique pour les déchets
		水筒	bouteille d'eau/gourde
		ちり紙	mouchoirs en papier
		ハンカチ	mouchoirs en tissu
		敷物(レジャーシート)	tapis pour s'asseoir par terre
		おしぶり	serviette humide pour les mains (oshibori)
		筆記用具	trousse et crayons
		雨具(カッパ)	imperméable
		折りたたみ傘	parapluie pliable
		薬(必要な人)	médicaments si nécessaire
6 服装	Vêtements	服装自由	libre
		赤白帽子	chapeau rouge et blanc
		休操服	tenue de sport de l'école
		履きなれた靴	chaussures confortables
		防寒着	vêtements chauds
		名札をつける	étiquettes à vêtement pour le nom
7 その他	Autres	雨で中止のときは、連絡網で連絡します。 En cas d'annulation pour cause de pluie, un avis sera donné par la chaîne téléphonique. (réseau de contacts)	
		当日雨が降ったら授業の用意をしてきてください。弁当が必要です。 En cas de pluie, veuillez vous préparer pour une journée de classe normale.	
		Un panier-repas sera requis. 急に行けなくなった場合は、必ず学校に連絡してください。	
		Veuillez vous assurer de contacter l'école si l'élève ne peut soudainement pas y assister	

保護者各位
Parents/tuteurs

月 (mois)/ 日 (jour)/ 年 (année)

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

修学旅行 / 宿泊学習 の実施について(お知らせ)
Information pour la voyage scolaire/voyage d'étude

1 期日	Date	月 (mois)/	日 (jour) (jour de la semaine)	年 (mois)/	日 (jour) (jour de la semaine)
2 行き先(方面)	Destination	XXXXXX			
3 日程	Programme	集合場所 集合時刻 出発時刻 宿泊先 (XX日)○○	lieu de rencontre Heure de rencontre XX:XX Heure de départ XX:XX Heure d'arrivée au logement (XX jour) ○○	学校 <input type="checkbox"/> Ecole ○○	駅 <input type="checkbox"/> Station/Gare
		解散場所 解散時刻	Lieu de dispersion Heure de dispersion XX:XX	学校 <input type="checkbox"/> Ecole ○○	駅 <input type="checkbox"/> Station/Gare
4 費用	Coûts	交通費 宿泊費 食費 見学科・入園料 集金日:○月×日	¥ X,XXX Transport Hébergement Repas Frais d'entrée Date de paiement ○/×		
5 持ち物	Objets à apporter	別紙の通り	Voir la feuille donnée à part		
6 服装	Vêtements	服装自由 赤白帽子 体操服 履きなれた靴 防寒着 名札をつける	libre chapeau rouge et blanc vêtements de sport de l'école chaussures confortables vêtements chauds étiquettes de nom pour les vêtements		
7 その他	Autres				
		持ち物には必ず名前を書いてください。 Assurez-vous d'inscrire votre nom sur vos effets personnels.			
		貴重品や不要な物は持っていないでください。 Veuillez ne pas apporter d'objets de valeur ou d'objets inutiles.			
		急に行けなくなった場合は、必ず学校に連絡してください。 Veuillez vous assurer de contacter l'école si l'élève ne peut soudainement pas y assister.			

修学旅行/宿泊学習 持ち物一覧
Liste des objets à apporter pour le voyage scolaire

持ち物	Choses à apporter	
下着	sous-vêtements	
靴下	chaussettes	
パジャマ	pyjama	
タオル	serviette/ linge de bain	
ハンカチ	mouchoirs en tissu	
ちり紙	mouchoirs en papier	
洗面用具	trousse de toilettes et savon	
小遣い(円まで)	argent de poche (jusqu'à XX yen)	
財布	porte-monnaie	
ゴミ袋(ビニール袋)	sac plastique pour les déchets	
筆記用具	trousse et crayons	
雨具(カッパ)	imperméable	
折りたたみ傘	parapluie pliable	
薬(必要な人)	médicaments (si nécessaire)	
保険証のコピー	copie de la carte d'assurance	
しおり	feuille d'instructions	
旅行かばん	sac de voyage	
時計	montre	
水着	maillot de bain	
ビーチサンダル	chaussures de plage	
軍手	gants de travail	
ナップザック	sac à dos	
懐中電灯	lampe de poche	

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

PTA 会員各位

Membres PTA (Parents/tuteurs)

学校名 Nom de l'école	XXXX XXXXXX
校長 Principal	XXXX XXXXXX
PTA会長 Président PTA	XXXX XXXXXX

PTA総会の実施について(お知らせ)
Information pour l'assemblée générale du PTA

1 期日 Date 月 日 (曜日)
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)

2 場所 Lieu 体育館 gymnase

3 日程 Programme	授業参観(各学級)	Visite des classes	XX:XX~XX:XX
	児童下校	Heure de sortie des élèves	XX:XX
	学級懇談(各学級)	Réunion de classe (par niveau)	XX:XX~XX:XX
	PTA 総会	Assemblée générale pour les membres PTA	XX:XX~XX:XX

4 その他 Autre 欠席される場合は、必ず委任状を担任まで提出してください。
Si vous ne pouvez pas assister à la réunion, assurez-vous de remplir le formulaire de procuration ci-dessous et de le remettre à l'enseignant.

委任状
Formulaire du procuration

私は、委員の選出および総会の決議を、出席者に一任します。

Je renonce à mon vote à la majorité et souscris aux décisions prises par les membres présents.

年 組
Année _____ Classe _____

保護者氏名
Nom du parent/tuteur

印
signature (tampon)

PTA会員各位
Membres PTA (parents/tuteurs)

月 (mois)/ 日 (jour)/ 年 (année)

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX
PTA会長 President PTA XXXX XXXXXX

バザーの実施について(お知らせ)
Information concernant le bazar

1 期日	Date	月 (mois)/	日 (jour) (jour de la semaine)
2 場所	Lieu	体育館	gymnase
3 日程	Programme	子どもの入場 大人の入場	entrée des étudiants XX:XX entrée des adultes XX:XX
4 販売品	Objets à vendre	食料品 日用品 雑貨 農産物 手作りの品 本	nourriture/boissons objets de la vie quotidienne produits divers produits agricoles artisanat livres
5 その他	Autres	買い物に来られる際、小銭・買い物袋の御用意をお願いします。 Si vous venez faire des achats, merci d'apporter de la petite monnaie et votre propre sac à provision.	

協力依頼
搬入・受付

Recherche de contribution
Réception

月 (mois)/ 日 (jour) (jour de la semaine)
XX:XX～XX:XX

1 日時	Date	月 (mois)/	日 (jour) (jour de la semaine)
2 場所	Lieu	体育館	gymnase

一人1点以上のご協力をお願いします。
Merci d'apporter au moins un article à vendre.

3 寄付していただきたい品物	Objets désirés	食料品	nourriture/boissons
		食器	vaiselle
		鍋類	ustensiles de cuisine
		タオル	serviettes
		シーツ	draps/couvertures
		ハンカチ	mouchoirs en tissus
		石鹼	savons
		洗剤	produits ménagers
		制服	uniformes scolaires
		体操服	vêtements d'école pour le sport
		靴	chaussures
		手作りの品	objets fait main
		雑巾	chiffons
		本	livres
		農産物	produits agricoles

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

PTA会員各位

Membres PTA (parents/tuteurs)

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX
PTA会長 Président PTA XXXX XXXXXX

労働奉仕作業の実施について(お知らせ)

Formation concernant les travaux communautaires

1 期日	Date	月 日 曜日 (mois)/ (jour) (jour de la semaine)
	* 小雨決行	L'événement sera maintenu en cas de petite pluie
	* 雨天中止	Annulé en cas de pluie
2 日程	Horaire	XX:XX～XX:XX
3 作業内容	Type de travaux	
	除草	désherbage
	草刈り	tondre le gazon
	樹木の整枝・剪定	élagage/émondage
	トイレ清掃	nettoyage des toilettes
	ペンキ塗り	peinture
	側溝清掃	nettoyage des fossés
4 持ってくる物	Objets à apporter	
	軍手	gants de travail
	カマ	faucille
	雑巾	chiffon
	たわし	brosse à récurer
	ゴム手袋	gants en caoutchouc
	ビニール袋	sac poubelle en plastique
	スコップ	serviette
	シャベル	pelle
	汚れても良い服装	vieux habits endommagés pour travailler

奉仕作業に

Pour notre projet de travaux communautaire:

参加します
 Je participe 参加しません
 Je ne pourrais pas participer

年 組
Année: _____ Classe: _____

児童生徒名
Nom de l'étudiant

参加者氏名
Nom du participant

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX
担任 Professeur principal XXXX XXXXXX

日課変更について(お知らせ)
Avis de changement d'horaire scolaire

日課が次のように変更になりますのでお知らせします。

Ceci est un avis de modification de l'horaire scolaire tel que détaillé ci-dessous.

1 変更日 Date (Jour de la modification) 月 日 (曜日)
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)

2 変更内容 Modification:

休校 Vacances scolaires

登校時刻の変更 Changement dans l'horaire scolaire

XX時XX分までに登校させてください。 Venez à l'école pour: XX :XX

下校時刻の変更 Changement de l'horaire de fin d'école

XX時XX分ごろ学校を出ます。 Heure approximative de départ de l'école: XX :XX
X曜日と日課を交換 Modification dans l'horaire quotidien: XX jour
X曜日の学習の用意をさせてください。 Apportez le matériel scolaire utilisé à la date in XX jour

3 変更理由 Raison du changement

学校行事のため	Événement de l'école
台風のため	Typhon
大雪のため	Forte chute de neige
学期始めのため	Rentrée scolaire
学期末のため	Fin d'année scolaire
家庭訪問のため	Période de visite à domicile des professeurs
インフルエンザ流行のため	Epidémie de grippe
PTA行事のため	Activité PTA
教職員の会議のため	Réunion des professeurs
教職員の研修のため	Formation du corps enseignant
その他	Autres

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)
学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX

台風や地震など緊急時の対処の仕方
Procédure à suivre en cas de typhon ou tremblement de terre

暴風・大雨・洪水の場合

En cas de typhon, de tempête (fort vent, forte pluie, risque d'inondation):

1. 午前×時の時点で暴風警報/大雨洪水警報が発令された時

1. Si l'avis de typhon, tempête est émis en matinée:

自宅待機する

Restez à la maison

休校とする

L'école est annulée

休校・登校時刻の変更は、連絡網でお知らせします。

Vous serez informé par téléphone de tout changement d'horaire scolaire ou si la journée scolaire est annulée.

- 午前×時の時点で暴風警報/大雨洪水警報が解除された時

○ Lorsque l'avertissement de typhon a été donné à X heures de la matinée:

⇒ 登校する

⇒ Venir à l'école

始業時刻は解除×時間後

L'école commencera à X heures, après la levée de l'avertissement.

給食がないのでお弁当を持参する。

Il n'y aura pas de repas préparé, veuillez apporter un panier-repas.

登校する際には通学路の安全に注意をして登校する。

Soyez vigilant et restez en sécurité sur le chemin de l'école.

2. 在校中に暴風警報が発令された場合

2. Dans le cas où un avertissement est émis pendant les heures de cours:

⇒ 風雨の状況や通学路の安全を確認し、速やかに下校させます。

⇒ Après s'être assuré que les routes sont praticables, les élèves seront renvoyés chez eux dès que possible.

状況によっては一時下校を見合わせます。

Selon les circonstances, le retour à la maison pourra être retardé.

2. 地震発生の場合

En cas de tremblement de terre

○ 在宅中の場合

Si vous êtes chez vous

⇒ 休校とする。

⇒ Ne venez pas à l'école

警戒宣言解除まで自宅で待機する。

Attendez à la maison que le danger soit passé.

○ 登校中の場合

Si l'étudiant est en route pour l'école

⇒ 学校に集合する。

⇒ Rendez-vous à l'école

児童生徒の避難誘導後、保護者に引き渡す。

Après l'évacuation, les étudiants seront rendus à leurs parents.

児童生徒は、教師が引率しての集団下校で帰宅する。

Les étudiants seront raccompagnés en petit groupe mené par un professeur jusqu'à leur domicile.

留守家庭児童生徒は、学校で待機し、保護者の迎えを待つ。

Les élèves dont les parents ne sont pas à la maison attendront à l'école pour être pris en charge.

○ 在校中の場合

Durant les heures scolaires

⇒ 児童生徒の避難誘導後、保護者に引き渡す。

⇒ Après l'évacuation, les étudiants seront rendus à leurs parents.

児童生徒は、教師が引率しての集団下校で帰宅する。

Les étudiants seront raccompagnés en petit groupe mené par un professeur jusqu'à leur domicile.

留守家庭児童生徒は、学校で待機し、保護者の迎えを待つ。

Les élèves dont les parents ne sont pas à la maison attendront à l'école pour être pris en charge.

帰るのが危険と思われるときは、その危険がなくなるまで学校に待機します。

Si le retour de l'étudiant n'est pas assuré, il attendra à l'école que le danger soit passé.

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX
担任 Professeur principal XXXX XXXXXX

集金のお知らせ
Avis de frais scolaire

次の通り集金させていただきたいと思います。

* Nous demandons le paiement comme suit.

下記の集金が未納になっております。ご確認の上、下記の金額を学校へ納入してください。

* Nous n'avons pas reçu de paiement pour les éléments suivants.

Veuillez le vérifier et soumettre le pa

1 集金日 Date du paiement dû 月 日 (曜日)
(mois) / (jour) (jour de la semaine)

2 集金金額 Montant ¥XXXX

内容	Contenu	金額(valor)
教材代金	frais du matériels scolaires	
遠足費用	frais d'excursion	
見学費用	frais de sortie scolaire	
修学旅行	frais de voyage scolaire	
その他の交通費	frais de transport divers	
送迎教室	frais de sortie de classe	
給食費	frais de cantine scolaire	
PTA会費	frais dû au PTA	
卒業準備金	contribution à la remise des diplômes	
卒業アルバム	album photo de fin d'année	
卒業記念文集	album souvenir	
卒業記念品	objet souvenir	
合計	Total	

3 集金方法 Mode de paiement

銀行口座の引き落として行いますので期日までの入金をお願いします。

* Veuillez vous assurer que l'argent est dans sur votre compte pour un retrait avant la date d'échéance.

封筒に入れてお子さんに持たせてください。

* S'il vous plaît mettre l'argent dans une enveloppe afin que l'étudiant puisse l'apporter à l'école.

欠席 / 遅刻 届
Avis d'absence/d'arrivée tardive

学年 _____ 級
Année: _____ Classe: _____

児童生徒名
Nom de l'étudiant

保護者名
Nom du parent/tuteur

欠席・遅刻する日 Date de l'absence/arrivée tardive 月 日 (曜日)
(mois)/ (jour) (jour de la semaine)

時間 Heures XX:XX ~ XX:XX

理由 Raison(s)

<input type="checkbox"/> 風邪	Refroidissement, rhume
<input type="checkbox"/> 頭痛	Maux de tête
<input type="checkbox"/> 腹痛	Mal d'estomac
<input type="checkbox"/> 発熱	Fièvre
<input type="checkbox"/> 怪我	Blessure, accident
<input type="checkbox"/> 通院	Visite médicale
<input type="checkbox"/> 旅行	Voyage
<input type="checkbox"/> 葬儀	Funérailles
<input type="checkbox"/> 外国人登録	Enregistrement des étrangers (gaikokujin touroku)
<input type="checkbox"/> その他	Autres ()

欠席または遅刻することが前もってわかっている場合は、お子様を通じてこの用紙を担任に渡してください。

Si l'absence ou l'arrivée tardive est connue à l'avance,
merci de faire remettre ce formulaire par l'élève

当日の場合、近所の児童に持たせて担任に渡してください。

S'il ne vous est pas possible de remettre ce formulaire en avance,
merci de faire remettre ce formulaire par un élève

月 日 年
(mois)/ (jour)/ (année)

保護者各位
Parents/tuteurs

学校名 Nom de l'école XXXX XXXXXX
校長 Principal XXXX XXXXXX
担任 Professeur principal XXXX XXXXXX

持ち物について
Demande concernant les objets à apporter

児童生徒名 Nom de l'étudiant XXXX XXX

O月X日に必要な物があります。

Object(s) nécessaire d'avoir à la date indiquée ○/×

1

2

3

語彙集目次	Liste de vocabulaire, Table des matières
カレンダー(Calendrier)	期日・年月日・四季・学期・月・曜日・時間
学校生活1 (vie scolaire 1)	学校行事 (événement de l'école)
	保健行事 (événements liés à la santé)
	PTA行事 (événement PTA)
	集金 (facture)
学校生活2 (vie scolaire 2)	日課 (horaire scolaire)
	教科(sujet, matière scolaire)
	方角 (direction)
	場所(校内)lieu (dans l'école)
学校生活3 (vie scolaire 3)	場所(校内)lieu (dans l'école)
	持ち物 (objets à apporter)
	学用品 (objets appartenant à l'école)
通知文 (notification)	発信者・宛先 (expéditeur • destinataire)
	表題 (titre)
	実施日 (date de mise en oeuvre)
	場所 (lieu)
	日程 (itinéraire, horaire)
	費用 (coût)
	持ち物 (objets à apporter)
	その他 (autres)
通知文用語(持ち物)	遠足 (excursion)
Termes de notification (objets à apporter)	宿泊學習 (voyage d'étude)
	奉仕作業 (travail d'entretien)
届け出 (notification, rapport)	出欠 (présence)
	理由 (raison)

カレンダー	期日	期日	date
	年月日	日 月 年 ~月~日	jour mois année jusqu'à .. mois .. jour
	四季	春 夏 秋 冬	printemps été automne hiver
	学期	1学期 2学期 3学期	premier trimestre second trimestre troisième trimestre
	月	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	janvier février mars avril mai juin juillet août septembre octobre novembre décembre
	曜日	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日	lundi mardi mercredi jeudi vendredi samedi dimanche
	時間	朝 昼 昼間(日中) 夜 午前 午後 ~時 ~分	matin midi après-midi soir/nuit matin après-midi ~ heures ~ minutes

	学校行事	événement scolaire
	入学式	cérémonie d'entrée
	卒業式	cérémonie de remise des diplômes
	始業式	cérémonie d'ouverture
	終業式	cérémonie de clôture
	春休み	vacances de printemps
	夏休み	vacances d'été
	秋休み	vacances d'automne
	冬休み	vacances d'hiver
	登校日	jour d'école
	授業参観	visite des classes par les parents/tuteurs
	学級懇談会	Réunion des parents d'élève en classe
	家庭訪問	viste des professeurs à domicile
	個人面談	entretien individuel
学校生活	遠足(校外学習)	sortie scolaire, excursion
	社会見学	observation de la vie sociale
	修学旅行	voyage d'étude
	宿泊学習	voyage d'étude, séjour avec une nuit
	運動会	journée sportive
	スポーツ大会	grande rencontre sportive
	水泳大会	rencontre de natation
	マラソン(持久走)大会	marathon (course d'endurance)
	文化祭	festivale de la culture
	学習発表会	présentation du travail fait à l'école
保健行事	音楽発表会	concert d'étudiants
	作品展	exposition d'art et travaux manuels par les étudiants
	映画鑑賞会	festival du cinéma
	演劇鑑賞会	festival des drama (séries)
	音楽鑑賞会	festival de musique
	定期健康診断	bilan de santé périodique
	内科検診	examen médical
	歯科検診	examen dentaire
	耳鼻咽喉科検診	examen d'oto-rhino-laryngologie (ENT examen)
	眼科検診	examen des yeux
PTA行事	身体測定	mesure de la taille et du poids
	予防接種	vaccination
	尿検査	teste urinaire
	寄生虫卵検査	examen parasitologique
	PTA	association des parents d'élève et des professeurs
	PTA総会	assemblée générale PTA
	労働奉仕作業	travail communautaire
	バザー	bazar, marché
集金	集金	facture
	合計	total
	給食費	frais de cantine
	PTA会費	frais PTA
	口座振替	paiement bancaire automatique (furikae)
	集金袋	facture papier
	学級費	frais scolaires
	教材費	frais pour le matériel scolaire

	学校生活	vie scolaire
	日課表	horaire, planning
	登校時刻	heure d'arrivée
	全校集会	assemblée de toute l'école
	朝の会	réunion du matin
	授業	classe
	短縮授業	leçon courte
	1校時	1ère période
	2校時	2ème période
	3校時	3ème période
	4校時	4ème période
	休み時間	pause
日課	給食	temps du déjeuner, repas du midi
	昼休み	pause de l'après-midi
	清掃	nettoyage
	5校時	5ème période
	6校時	6ème période
	帰りの会	réunion de fin de journée
	クラブ活動	activités du club
	クラブ	club
	委員会	réunion des délégués
	生徒会	réunion des étudiants
	学級会	réunion de classe
	下校時刻	heure de sortie de l'école
	放課後	après les cours
	教科	sujet
学校生活	国語	langue japonaise
	算数	mathématiques
	理科	science
	社会	culture générale
	生活科	sciences de la vie
	図画工作	travaux manuels
	美術	art
	音楽	musique
	家庭科	économie familiale
	体育	éducation physique
	総合学習	libre-étude
	書写	calligraphie
	学級活動	activités en classe
	道徳	éducation civile
	英語	anglais
	北	Nord
方角	南	Sud
	東	Est
	西	Ouest
	校舎	bâtiment scolaire
	体育館	gymnase
	校庭	cour, préau
	運動場	terrain de sport
	プール	piscine
	駐車場	parking
	教室	salle de classe
	廊下	corridor
	階段	escalier
	トイレ	toilettes
	昇降口	entrée des étudiants
	くつ箱	cassier à chaussure

	校長室	bureau du principal, directeur
	事務室	bureau de l'administration
	職員室	bureau des professeurs
	会議室	salle de réunion
	理科室	laboratoire
	音楽室	salle de musique
	工作室	salle de travaux manuels
	家庭科室	salle d'économie familiale
	調理室	salle de cuisine
	図書室	bibliothèque
	視聴覚室	salle d'audiovisuel
	給食室	cafétariat
	保健室	infirmerie
	(学校に)持ってくる物	choses à apporter
	ランドセル	cartable (rando-seru)
	制服	uniforme scolaire
	赤白帽	chapeau rouge et blanc
	名札	étiquette
	ハンカチ	mouchoir en tissu
	ちり紙	mouchoir en papier
	上靴	chaussures d'intérieur, pantoufles
	傘	parapluie
	持ち物	
	体操服	uniforme scolaire pour le sport
	体育館シューズ	chaussures de gym
	水着	maillot de bain
	タオル	serviette de bain
学校生活	給食着	uniforme scolaire pour servir le repas scolaire
	給食用ナプキン	serviette (repas)
	はし	baguettes
	給食用袋	sac pour les ustensiles de repas
	マスク	masque
	歯ブラシ	brosse à dent
	コップ	verre, gobelet
	学用品	matériaux scolaires
	教科書	manuels scolaires
	ノート	cahiers
	下敷き	petit sous-mains (shitajiki)
	鉛筆	crayons
	消しゴム	gomme
	筆箱	trousse à crayons
	定規	règle
	三角定規	équerre
	コンパス	compas
	分度器	rapporteur
	色鉛筆	crayons de couleur
	クレヨン	crayons type pastels à huile pour enfant (neocolor)
	絵の具	matériaux de peinture
	のり	colle
	はさみ	ciseaux
	セロテープ	ruban adhésif (Scotch)
	粘土	pâte à modeler
	鍵盤ハーモニカ	Mélodica
	リコーダー	flûte à bec
	習字道具	matériel de calligraphie
	裁縫道具	matériel de couture

通知文	発信者 宛先	校長	principal, directeur
		教頭	directeur adjoint
		担任	enseignant principal
		養護教諭	infirmière de l'école
		PTA会長	président du PTA
		保護者	parents/tuteurs
		PTA会員	membre PTA (Association des Parents et Professeurs)
	表題	お知らせ	information, avis
		お願い	requête, demande
		実施	mise en œuvre
	実施日	期日	date d'échéance
	場所	場所	lieu
		小学校	primaire
		中学校	collège
		高校	lycée
		駅	station, gare
	日程	日程	horaire
		登校	entrée dans l'école
		下校	sortie de l'école
		集合場所	lieu de rassemblement
		集合時刻	heure du rassemblement
	日程	出発時刻	heure de départ
		解散場所	lieu de dispersion
		解散時刻	heure de dispersion
		雨天中止	annulé en cas de pluie
		雨天決行	reporté en cas de pluie
	宿泊	延期	reporter
		宿泊	voyage, séjour avec nuit(s)
		宿泊先	lieu de séjour
		昼食	déjeuner, repas de midi
		夕食	dîner, repas du soir
	費用	野外調理	cuisine en plein air
		受付	réception
		開会	ouverture
		閉会	fermeture
		式典	cérémonie
	その他	費用	frais, dépenses
		交通費	frais de transport
		入場料	frais d'entrée
		宿泊費	frais d'hébergement
		食費	frais des repas
		概算	estimation
	持ち物	無料	gratuit
		持ち物	objets à apporter
		その他	autres
		服装	vêtements
	連絡網	自由	libre (au choix)
		連絡網	chaîne téléphonique, réseau de contact
		連絡網で知らせる	informer par chaîne téléphonique, réseau de contact

	遠足	excursion
	リュック	sac à dos
	弁当	pique-nique (bento)
	水筒	bouteille d'eau/gourde
	おやつ	goûter
	くず入れ(ビニール袋)	sac plastique pour les déchets
	ハンカチ	mouchoir en tissu
	ちり紙	mouchoirs en papier
	敷物(レジャーシート)	tapis pour pique-nique
	おしぼり	serviette humide pour les mains (oshibori)
	筆記用具	trousse et crayons
	雨具(カッパ)	vêtements de pluie (imperméable)
	折りたたみ傘	parapluie pliant
通知文用語 (持ち物)	薬	médicaments
	下着	sous-vêtements
	靴下	chaussettes
	パジャマ	pyjama
	タオル	serviette de bain
	洗面用具	trousse de toilette (gel douche, shampoing, etc.)
	保険証のコピー	copie de la carte d'assurance santé
	旅行のしおり	étiquette à bagage
	旅行かばん	sac de voyage
	時計	montre
奉仕作業	軍手	gants de travail
	カマ	faucille
	雑巾	chiffon
	たわし	brosse à récurer
	ゴム手袋	gants en caoutchouc
	スコップ	truelle
	シャベル	pelle
届け出	年	année
	組	classe, groupe
	児童生徒氏名	nom de l'étudiant
	保護者氏名	nom des parents/tuteurs
	参加者氏名	nom du participant
	出席	présent
	欠席	absent
	遅刻	retard
	参加	participer
	不参加	ne pas participer
理由	委任状	procuration
	理由	raison
	風邪	refroidissement, rhume
	頭痛	maux de tête
	腹痛	maux d'estomac
	発熱	fièvre
	怪我	accident/blessure
	通院	consultation médicale
	旅行	voyage
	葬儀	funérailles
	外国人登録	enregistrement des étrangers (gaikokujin touroku)

立川言語文化研究会 会則

- 第一条 本会は「立川言語文化研究会」と称す。
- 第二条 立川言語文化研究会は立川日本語・日本語教育研究所主宰の研究会である。
- 第三条 本会は、ことばに関する研究・教育する人たちと連携を図り、研究発表だけでなく、意見交換、情報交換の場を提供するとともに言語文化の研究・教育の発展に寄与することを目的とする。言語文化研究には言語学、日本語教育学、文学、社会学など、言語表現に関わる研究分野を広く含む。
- 第四条 ことばの研究・教育に関心のある人ならば会員となれる。
- 第五条 本会の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究発表会（もしくは研究報告会）の開催。
ウェブ上での研究会は、メーリングリストを使用して行う。
 2. 年一回の研究誌『日本語文化の研究』発行。
 3. その他、講演会、親睦会など本会の目的を達成するために必要な事業。
 4. ホームページによる情報発信。
- 第六条 本会は下記の役員をおく。
1. 会長 一名
 2. 副会長 二名
 3. 会計監査 一名
- 第七条 役員は任期 2 年とする。ただし、重任を妨げない。
- 第八条 本会の経費は、寄付金、交付金その他の収入をもってこれにあてる。
- 第九条 本会の会費は無用であるが、『日本語文化の研究』に掲載が決まった場合には、掲載料として 10,000 円を必要とする。
- 第十条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第十二条 事務局は立川日本語・日本語教育研究所内におく。
- 付記 この会則は 2017 年 5 月 30 日から実施する。

2017 年 11 月 4 日 一部改訂

『日本語文化の研究』投稿規定

1. 本誌は、年一回発行を基本とする。
2. 投稿は原則として会員に限る。
3. 原稿の内容は、言語学・言語教育・民俗学など、ことばに関連があるものに限る。
4. 原稿の採否は編集委員が審査し、決定する。また、審査段階で修正を依頼することがある。
5. 使用言語は日本語または英語とし、横書きとする。
6. 原稿は完全原稿とし、未発表論文（口頭発表を除く）に限る。
7. 原稿の長さは図・表を含め A4 判サイズで 10 枚を越えないことを基本とする。
8. 原稿の左右・上下の余白は以下に示した例に従うこととする。日本語の原稿は 40 字 × 40 行を基本とする。英語の原稿はダブルスペース、または 1.5 スペースで 40 行を基本とする。原稿の 1 ページ目は、タイトル、氏名、所属をこの順に記し、それに本文を続けることとする。頁ナンバーは、原稿の裏に鉛筆で記すこと。ワードによる電子媒体で投稿する場合は頁ナンバーの記載は不要。

原稿は隨時受け付けるが、次号（Vol. 4）の締め切りは 2021 年 3 月末日とする。
送付先（送信先）は立川言語文化研究会事務局まで。

あとがき

近年、八王子車人形西川古柳座に大変お世話になっている。そもそも人形浄瑠璃の動きを取り入れた AI ロボットの開発は董然さんの博士論文のテーマで、私は単なる手伝いでしかなかった。当初、桐竹勘十郎さんに依頼してデータを取らせて頂いたのだが、頻繁に依頼することができない。そこで、私の自宅に近い場所に稽古場がある西川古柳さんに協力を依頼したところ、快く受けてくださった。そもそも西川古柳座は国・選択無形文化財に指定されるほどの劇団で、最初に依頼すべきであったが、私の中に人形浄瑠璃は文楽座という先入観があった。その先入観は間違いでいた。古柳さんから「古柳座の公演を見てください」とチケットを送られ、拝見した古柳さんの舞は見事で、すぐに魅了されてしまった。その後、私自身が研究対象にして研究経費も獲得した。董さんは無事、博士号を取得でき、さらに東京工科大学助手に就任できた。本誌では、八王子車人形の特集号が組めた。西川古柳さんをはじめ、西川古柳座の皆さんに感謝申し上げる。

（早野慎吾）

日本語文化の研究 VOLUME 3

2020 年 5 月 1 日発行

編集 立川言語文化研究会

発行 立川日本語・日本語教育研究所

〒190-0012 東京都立川市曙町3-4-20

立川言語文化研究会事務局

電話・FAX 042(848)5131

印刷 ぎょうせいデジタル株式会社

190-0012 東京都立川市曙町1-25-12

電話 042(522)3176

ISSN2433-2623

NIHONGOBUNKA NO KENKYU

(Studies in the Japanese Language Culture)

VOLUME 3

May 2020

CONTENTS

Articles

Shingo HAYANO : A Psychosociological Study on the Soul that Humans Feel in Bunraku Puppet

— “Understand Others” and “Personification”—

Dong RAN, Shingo HAYANO, Yuying HE, Dongsheng CAI : Robot motion design using Hachioji

Kuruma Ningyo — Focusing on Jo-Ha-Kyu —

Research Reports

Dongsheng CAI : Press Conference Report: A New Multi-Disciplinary Approach by
Traditional Performing Arts to Merge Ningyo Joruri and Advanced Technology

Shingo HAYANO, Yoshie MIYATA, Yoko MATSUI, Manabu SHIMAOKA,

Priscilla BLARDONE-SHIMAOKA : Software for School Advisories (French)

**TACHIKAWA Research Institute
for Japanese Language and Japanese Language Education**